新撰地誌

十七ノ九十二　第四棚

下

別14
2

305
10

国立国会図書館　　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2

ガラス使用

新撰地誌第二稿

四

国立国会図書館　　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2

ガラス使用

〔都府〕十「ヲルデンビュルグ」十一「デルメンホルスト」十二「ヘクテ」
十三「コロッペンビュルグ」十四「ウイーデス ホイセン」十五「エ。ウチン」
十六「ハルベ」十七「キニップ ホイセン」十八「ハールレル」
十九「デッサ。ウ」二十「ベルンビュルグ」

〔都府〕工「ヘルトクドムメン・アンハルト」
地方積四十二里獨逸回々法 口数十二万八千左の諸地を總攻
「ヘルトクドム、アンハルト・デッサ。ウ」
「ヘルトクドム・アンハルト・エールンビュルグ」
「ヘルトクドム・アンハルト・コーテン」
二十一「ハルスゲローデ」二十二「コーテン」

小関好義譯稿本

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』 請求記号 寄別14-2
ガラス使用

M 「ホルステンドムメン・スワルツビュルグ」

地方積（獨逸国道法）四十一獨逸里口数九万五千 左の二地を總ぬ
「ホルステンドム、スワルトビュルグ」ソンデルホイセン」「ホルステンドム、
スワルツビュルグ・リュドルスタッド」旦
〔都府〕二十三・「ソンデル・ホイセン」二十四「アルンスタッド」
二十五「リュドル・スタッド」

N 「ホルステンドムメン・ホーヘンソルレルン」

地方積（地理家定法）二十四ゼヌガラヒ里 口数四万二千 左の二區
を總ぶ「ホルステンドム、ホーヘンソルレン、ヘシンゲン」「ホルステン
ドム、ホーヘンソルレン・シグマリンゲン」

〔都府〕二十六「ヘシンゲン」二十七 山城「ホーヘンソルレルン」高尺
八百尺中山北下に在て立あり 古兵器古戎衣を蔵む
二十八「ジグマリンゲン」其属下三の「ベールレイキヘーデン」官吏の給地
其中に就て 二十九「モスケルク」最大なり

O 「ホルステンドム、リッテンステイン」

此地「スウイッセルランド」と「チロル」との間になり 方積（獨逸国道法）二
獨逸里口数五千
〔都府〕三十「コンケルレンビュルグ」

P. 「ホルステンドム、レウッス」

地方積二十八里口数十万七千

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2
ガラス使用

「都府」三十一「ガライス」三十二「ロベンステイン」三十三「シケイツ」
三十四「エベルスドルフ」三十五、「ゲラ」
Q 「ホルステンドムメン」、「リッペ・デトモルド」
「リッペ・シカウムビュルゲ」
二地合て方積。三十二「セヲガラヒー里口数九万四千
「都府」三十六「デットモルド」三十七「ホルン」三十八「レムゴ」
三十九「ブロムベルグ」四十「スタットハーゲン」四十一「ウイルヘルムスステイン」
此府ハ「ステインヒュールデ」湖中「ウイルヘルムスステイン」島ニ在リ
「ヲースデ」イキ國の記錄ニ曰「リッペ・デトモルド」千八百十七年
諸の抽税を除く但骨牌と焼酒の抽税在リ

R 「ホルステンドム・ワルデッキ」
地方積。二十二「セヲガラヒー里口数五万三千
「都府」四十三「コルバク」國の總都「ワルデッキ」の中ニ在リ
四十四「ペイルモント」「ガラーフシカップ・ペイルモント」の中ニ在リ

S 獨逸諸建國
四十五「リユベッキ」口数二万六千。寺在リ「シリーンケルク」と名く
公友ニ日生学の時辰表及「ドーデンダンス」を発ス又諸般の
學院「神舎」(ゴッホイセン)在リ又煙草砂糖皮革琥珀石欽妖玉綠
笠「パルケメント」(パルケメント)等ヲ工業ト為ス「ダラヘミンデ」府ハ此都ニ
属ス

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2
ガラス使用

四十五「フランカホルト」口数四万 獨逸同盟會集の地なり
数多の大小學校諸般の工業諸物の商賈なり中最繁く
「レイン酒」の商賈最盛なり又其「ミッセン」と名る一年両度
の市日に於て書籍商賈は「サクセン」ハ°ラセン府ハ此都と只
一河を隔り橋梁長さ三百歩余兩部の人因て相往来に
四十六「ブレーメン」口数三百八千 木綿 砂糖 烟草 白鉛
皮革「ブレーメル・グルーセ」骨牌 鏡 等の工業及大商賈
なり
四十七「ハムビュルグ」口数十万四千・二港なり一ハ海船一ハ河舟
の泊所なり官府殿宇の最壮麗なるハ「ミカーリス、ケルク」名寺
舟子病院是なり 賈人の家ハ皆湟水を臨む大船直ちに

其門前に到着に諸船の学校なり又商賈を教る学校
書堂及其他の蔵物菜園諸般の工業なり「アルヒス」鯨及大魚の名
の總名及「ロッペン」海獣の名を捕る猟業なり又大商なり是り
ためヌ数般の會群なれハち「ペラウルセン」「アッシェランチー」、「コムパグ
ニーン」等を設く「リットセンビュッテル」「キュリス、ハーヘン」二府ハ此都
に属す

第二十四篇 王國
「ワュルテンビュルグ」「ハノーヘル」
「サクセン」
第十四圖に出た
王國「ウュルテンビュルグ」

地方積。三百六十八獨逸里口数百三十四万 分て十二「ラード・ホーリ
デイン」府（執政）と云

[都府] 一「スツットガルド」口数二万千五百。奇産及奇巧を蓄
する宝庫新古二ツあり 又王の居堂「アンチケンサール」
養生院「メナゲリリー」画及彫像の学校諸般の工業
あり 二「エスリンゲン」三「リユドウイグス・ビユルグ」口数六千
城あり極て壮麗 又画家の室堂器械の蓄、鐘を鋳る処
諸般の工業あり 四「ロット、ウエイル」五「ヘイルブロン」六「ハル」
七「ヰルクベルグ」八「エルワンゲ」九「ユルム」口数一万四千此府一大
寺あり獨逸國中最一と云其中に高塔あり 高サ
三百六十七尺あり又府の政廳、[illegible]
鳴鐘あり又諸般の工業商賈航海の業あり
十「ビユツツクホルン」十一「ワルドゼー」

U 王國「ハノーヘル」
地方積。六百五十獨逸里口数百二十万此國ハ英吉利
亜ニ属に而して U 接續せる諸地の外尚左の
諸國を領す

U** U* U*
「ベチーデン・カラーフンカップ、リンゲン」
「ホルステンドム、ヨスナブリユツリ」
「ホルステンドム、ヨースト・フリースランド」

右の外「ハノーヘル」王の旗下ニ属するハ
ひ「アムブト・メッペ」又名「エムスランド」是ハ「アムベルグ」
ひの「ヘルネグ」侯此領地なり
「ガラーフシカップ、ベンテイム」「ホルステンドム、レイ子・ウヲル
ベッキ」
〔都府〕十三、「ハノーヘル」口数一万七千 国の執政の府なり
「トイグ・ホイス」なりと戯庫と蔵む 熕を鋳る処「軍器庫」教官のために
設る花園数多の學校諸般の工業焼酒を製する
処麦酒を醸す処なり 都の前ニ「レイブニッツ」古人の名の
像を安置ス其近邊ニ別莊二ヶ所なり 一を「モント、

「ブリルラント」と云一を「ヘルレンハウセン」と云「ヘルレンハウセン」と
云泉なり 淌ル人種ヲして高 百三[illegible]
ビュルグ」爰[illegible]
十四「ハーメレン」[illegible]ニケン」口数八千餘
大學校なり又大書堂なり藏書二万八千巻 又
官府文所なり 十六、「ハノーヘルス・ミシデン」又「ミュンデン」
[illegible]「ビュルグ」口数一万、十八、「セル」口数四千八百・
[illegible]「スタル」口数七千五百。此近所ニ銀坑なり
[illegible]イム」一大都 二十四「ゴスラル」一大都 二十五「リンゲン」
二十六、「ヲスナブリュッグ」口数九千五百、二十七「アウリッグ」

右の外「ハノーヘル」王の旗下に属するハ「アムブト・メッペ」又名「エムスランド」是ハ「アレムベルグ」の「ヘルネグ」侯此領地なり「カラーフシカップ、ベンテイム」「ホルステンドム、レイ子・ウヲルベッキ」

[都府]十三、「ハノーヘル」口数一万七千国の執政の府あり「トイグ・ホイス」あり武庫を蔵む 熕を鋳る処「砲庫」教官のために設る花園数多の學校諸般の工業焼酒を製する処麦酒を醸す処あり 都の前に「レイブニッツ」古人の名の像を安置し其近邉に別荘二ツあり 一を「モント、

「ブリルラント」と云一を「ヘルレンハウセン」と云「ヘルレンハウセン」と鉱泉あり 瀑ハ人程にして高百二十尺あり 十二「レビュルグ」爰に「ゲソンドヘイド・ブロシ子」温泉の類あり 其外に十四「ハーメレン」口数五千、十五「ゴッチンゲン」口数八千餘大學校あり又大書堂あり蔵書二万八千巻 又官府数所あり 十六「ハノーヘルス・ミシデン」又「ミュンデン」十七「リュ子ビュルグ」口数一万、十八「セルレ」口数四千八 △

二十二「カラ・ウスタル」口数七千五百此近所に銀坑あり
二十三「セルデフ子イム」一大都 二十四「ゴスラル」一大都 二十五「リンゲン」
二十六「ヲスナブリュッグ」口数九千五百、二十七「アウリッヅ」

△オーザ
十九「スターデ」
二十「ヘルデン」
二十一「オム・ベッキ」
口数五千」

十九「スターデ」二十
十二「エイ

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号　寄別14-2
ガラス使用

トヰ属するハ
ベ」又名「エムスランド」 是ハ「アムベルリ」
類地あり
、ベルテイム」「ホルステンドム、レイ子、ウラル
口数一万七千國の執政の府あり
類を鋳る処「[illegible]の庫」教官のために
及諸般の工業焼酒を製する
都の前ニ「レイブニッツ」古人の名の
ニ別荘ニヶ所あり 一を「モント、

レンハウセン」と云「ベルレンハウセン」と
して高百二十尺あり 十二「レ
ド・ブロシ子ン」温泉の類あり 其名
十五、「ゴッチンゲン」口数八千餘
會堂あり 藏書二万八千巻 又
「ハノーヘルス・ミシデン」又「ミユンデン」
数一万、十八、「セルレ」口数四千八、△
七千五百。此近所ニ銀坑あり
都 二十四「ゴスラル」一大都 二十五「リンゲン」
数九千五百、二十七「アウリック」

十九「スターデ」二十「ベルデン」二十一「エイム、ベツキ」口数五千

国立国会図書館 タイトル『新撰地誌』 請求記号 寄別14-2
ガラス使用

二十八「エムブデン」二十九「ノルデン」海水浴の名所 府の東北に
二島なり 一を「ボルキュム」と云 一を「ワンゲローグ」と云 三十
「メッペン」三十一「レイヲ」三十二「ベンテイーム」爰に「ゲソンドヘイド」
「ブロンチン」の類 温泉なり

V 王國「サキセン」

地方積（續）獨逸国道法三百六十里 口数百二十五万 分て五部とし

a「メイスニッセ、ケレイツ」

b「ライプシゲル、ケレイツ」

c「エルツベルグセ、ケレイツ」

d「ホイグトランゼ、ケレイツ」

e「ヲップル、ラロウシテツル、ケレイツ」

「都府」三十三、「デレスデン」口数五万六千 王の治府「エルベ河」を渡る一大橋なり 長七百十「エル」（一「エル」八一尺二寸七分五厘）欄十八「エル」あり 一城なり 爰の「グルーチ・ゲウエルブ」と称以彫画殊に奇巧 異産及其他の財宝を藏むる宝庫なり 又日本風の宮室なり 又書堂「アンテーキ」及磁器の藏物なり 又数多の寺院造構皆荘麗を極む 又諸般の学校諸般の工業あり 三十四「メイセン」三十五「ライプシグ」口数三万四千五百 大學校 堂皇 [illegible] 諸学諸術の共學及官府数所あり 毎年大市三日ありて 商賈繁盛なり 又此都 [illegible]

国中最繁盛独逸国大中第一とす 三十六「フレイビュルグ」口数
九千諸般の学校並ニ工業あり 三十七「シムニッツ」口数一万
八千巨大の「ブローケン」布を曝す処 「木綿」布にて製したる襦袢の類 及莫大
の工業あり 三十八「ブラヱン」口数六千 三十九「ウールスニッツ」
採珠業あり 四十「バウセン」口数一万

第二十五篇IV 王國「ベエイレン」

第十四圖IV ニ出ス

「封域廣袤」 北「サクセン、コビュルグ」及「レウス」の國と
疆を接し 東「ヲーステンレイキ」の帝國と隣し 南「チロル」
ニ抵り西「ウユルテンビュルグ」「バーデン」「ヘッセン」と相接す

○積独逸国乃法
地方○千三百独逸里一

「氣候」 温和順良なり

「地性産物」 北地ハ一平坦にて肥沃 南地ハ山多し
諸地諸穀を産す 鉱他国其他諸大輪あり
又「ブラス」「ペンニップ」「ホップ」を産ス但畜獣の業ハ少し
又鉄鉛銀「コルメル石」塩を出す

「諸水」 a「ドナウ」河 b「インス」河 c「イセル」河 d「アムメル」湖
メ「キーメル」湖

「国人」 大抵独逸国人と同じ 口数三百四十一万

「宗門治体」 羅瑪の「カトレイキ」宗にてハ王家の治あり

區別七「ケレイペン」と一二「ラドシカッペン」と二分り
「イサト、ケレイツ」
「ベ子ーデ・ドナロウ、ケレイツ」
「ローゲン・ケレイツ」
「ニイン、ケレイツ」
「レサット・ケレイツ」二三の「ホルステンドム」諸侯の領地
「ヨップル・ドナロウ、ケレイツ」二三の「ホルステンドム」屬に
「イルレル・ケレイツ」二三の「ホルステンドム」屬に
W* 「ヘルトクドム」や「ヴエルツビユルグ」
W** 「ホルステンドム・アフシカッヘンビユルグ」

W** 「アムデン、アルセナロウ」「ミルテンビユルグ」「アモルバッグ」
「ヘ゜ウバッグ」「アムブト、ウエルテイム」の一部
W*** W*** 「ビユルダ」の一部
「レイン」河左汀の一二の「チストリクテン」領地
右の外「バーデン」の一地方並と「ニイン」「タウベルケレイツ」の荒
廢せるを修繕して此國[illegible]の封内に入る「ウエルテイム」ハ
即ち其總都なり「スターツ、コランド」新聞日記の類 千八百十六年
五月廿日並に六月廿日の條下を讀むべし（参看セヨ）
「都府」一「ミユンセン」口数六万國の總都一城なり極て莊麗
象伽藍（カーペル）へ画を集ル府諸學の講する學院なり又是ヘ

数多の官府附属す又「タペイテン」「本綿」莫大小蠶絲
皮革 烟艸 紙及其他の工業なり 二、「ビュルグ、ハウセン」 三
「ダラウスティン」 四「レイセンバル」 塩熬する処なり 五「バッサウ」
口数六千 府を去る事数里「ロット河の大橋なり一幅ゟ西幅三百尺
欧羅巴中最大橋なり 六「レーゲンス・ビュルグ」口数一万六千
府「ドナウ」河に臨む橋なり長千九十一尺濶二十三尺「ボーエゲン」
十五なり此橋凡六百年を経ると云 星學の大先生「ケプレル」の
碑なり 七「アムベルグ」口数七千三百・八「バイレウト」口数
一万 「本綿」「磨器」皮革「ペルカメント」「マルメル石」骨牌等の
工業なり 九、「バムベルグ」口数一万六千四百 大小学院数所

諸般の工業頗る及鐘を鋳る処 金銀工造舟業并に航海
の業なり 十「ミュッヘンドルフ」洞数所なり其中皆相接
し通行する事を得べし 洞裡鐘乳凝成奇形のものと骨の化石
と有甚観るに適し 十一「アンスバック」口数一万三千 諸般
の工業なり 十二「エルランゲン」 口数八千六百 大小學数所
なり 諸學生徒自然學科并に其他學科社中の會所あり
又諸般の工業 特に「ヲーウレンビュルグ」より産する諸物の
工業なり 十三「ヲーウレンビュルグ」 口数二万六千 此府奇事
最多し 一の古城なり峻崖に依て創建以 其政廳荘麗
を極む「アルベルト・デュレル」名人の手画を以て飾るなり 又 飛泉

大なるもの二ツ小なるもの百三十三あり諸般の大學校特に
手工を教るために設るもの多く又諸學藝の共学教所あり
又諸般の工業中ニ就く「アルバスト」の工業多く十四「マルクト
フレッキ、ビュルト」口数一万三千其中三千ハ「ヨーデン」宗なり此地
法徒領と官家領と相半す大學校鏤版業盛なり
十五「マルクト・シカイニヘルド」十六「エイキスタット」十七「インゴルスタット」
十八「アウギスス・ビュルグ」口数二万九千諸般の製造工業盛なり又官府
殿堂極く荘麗政廳上中下三層ニ分り其中室ハ紅「マルメル」
の柱を用ひ上室ハ黄金を以て飾て而して五十二窓と美画あり
三室皆紅白及灰色の「マルメル」石を以て磚とす又此府ニ蔵

甚観るべし十九「ケムプテン」二十「ウュルツビュルグ」口数二万千四百
盛都會なり二十一「スクウェインヒュルト」二十二「コーミングスホフ」二十三「アフシャッヘン
ビュルク」二十四「ブリュッケナウ」二十五「アモルバッツ」二十六「ケイズルス・ラウ
テレン」二十七「テウェーブリュッゲン」二十八「スピールス」二十九「キルケイム」
三十「キュッセル」

第二十六篇　王國「プリュイセン」

第十四圖Yニ出ル

「封域廣表」北「メーケレンビュルグセ」東洋魯西亜の地は
接し東ハ魯西亜及「ポーレン」ニ連り南ハ「ポーレン」「ヲーステン
レイキ」「サッセン」及獨逸国内の一二國と疆を接し西ハ

拝郎察國和蘭及獨逸國内の一二ヨと相隣に地方積
積。土六千ゼツガラキ里 （朱書：○地理家乃法）
「氣候」温和順良なり但東海濱冷湿にして不順なり
「地性産物」地大抵平坦唯「セレレー」と「マーゲデル」「ビュルゲセ」
の二山地あり牛馬毛羊豕驢「モイルエセル」二種の野羊
諸島野獸、鷲、熊「ベーフル」蜂蚕魚類蔬菜大豆諸類
蕎麦粟馬鈴薯諸穀「ヲーフト」葡萄酒材「フラス」
「ヘンニップ」烟草塩硝石礬石将礬石炭「チュルフ」焼土
硫黄瑪瑙「コルメル石」石麻「セルペンテイン」「ミュル」「サンド」石
「クワルツ石」「レイ」石灰石磁器を造る土烟管を造る土鉄鉛

亜鉛銅銀金「コバルト」玉砥石「ミ子ラール水」を産に其人
工ニ出る物ハ綿布紙革磁器金銀銅鉄及玻璃の
機巧鏡笠「タペイテン」時辰表等あり又麦酒醋焼酒
等を産に（朱書：出）
「諸水」a東洋是ハ「フリエイセル」の地を漬す事百里の間あり
其湾ハb「エイリス・ハフ」c「フリス・ハフ」d「ステルチ子ル・ハフ」
あり e「メーゼル河又名「ミーズ」」f「ウエイキセル河」g「ヲーデル河」
是ハ三十小河灌する所なり又湖水多し
山「レインハルツ」m「ヒエンツリエック」
「國人」諸種の人物錯雑するを以て風俗一定せに

口数百万

「宗門治体」東「プリユイセン」及ビ「ポムメレン」の地ハ「リユツテル」宗多し「ポーセン」「バーデルボルン」「ミユンステル」の地ハ羅瑪カトレイキ宗行る「デーケレンビユルグ」「子・ウレンビユルグ」ハ「ベルホルメールデ」宗行ハる

尚其他「メンモミテン」「ヒユツレテン」「ブルーデルゲメーンテン」宗旨行ハる、

「政治」治ハ獨立王政なり

「區別」千八百十五年四月三十日の會議の時ニ十「プロヒンシーン」ニ分ツ其後「ロイン」河邊ニなる二「プロヒンシーン」を増加す而「尼」

其區別未タ確定せざる所有るが故ニ爰ニハ古の區別ヲ随て是を説くのミ

此國二篇ニ分てこれを説く先ツ其互ニ界を接する諸地を挙て左ヲ示す

Y 「クーマルク」

Y一 「子・ウマルク」

Y二 「ベルトクドム・ポムメレン」

Y三 「ベルトクドム・シレッシー」

Y四 舊王國「プリユイセン」

Y五 「ベルトクドム、ポーセン」

Y六 「ベルトクドム、サキセン」

Y七 「ホルステンドム、エルヒユルト」

Y八 「ホルステンドム・ヘイスヘイド」 「ガラーフシカップ」
「ミュルホイセン」及「ノールドホイセン」 属馬
Y九 「ベルトリドム・ニーグデンビュルグ」
Y十 「ホルステンドム・ハルベルスタッド」 「ガラーフシカップ・
「ホーンステイン」及「クウェドリンビュルグ」の領地

属馬

【都府】 一「ベルレイン」 周囲四里 口数 十六万七千 王館ニ
機巧奇産古貨の蔵物ナリ 又「ストイグホイス」武械を蔵る庫処
銃を鋳る処 金銀坐、「ユミヘルシテイツ・ゲボウエン」学校 職人の王の
画堂、王家の畜獣舎「ヲプレル・ハトリ。ウム」質験せる事を講ずる会処 幼院

「リッテル・アカデミー」学校アリ 義會の「インハリデンホイス」貧院の類 ナリ 又「ヲペイル
ヘルム」名人の劇場ナリ 爰ニ五大守の像を立ツ 又庭園ニ「アンハルト・
デッサウ」の居長「レヲポルド」の像を立ツ 又長橋ナリ 爰ニ国王
「フレデレッキ」の像を立ツ 又寺数十 學校数所ナリ 又諸学
藝研究の共学 并ニ諸般の工業多シ 又「ブランデンビュルゲルポール」
名門の外ニハ獣園及獨逸人の遊園ナリ 二「ポッツダム」 口数
一万五千五百 国王第二の治府アリ 爰ニ「サンス・ソウシ」と云処
ナリ 「フレデレッキ」第二世王の居館アリ「ニルメル石を以て是を造る
三「フランクホルト」 「ヲーデル河の邊ニナリ 口数 千二百五十「ブリュンス・ウエイキ」
の「ヘルトグ」侯「レヲポルド」の祠堂ナリ 此都毎年三大市肆を開く

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』 請求記号 寄別14-2
ガラス使用

是を「ミッセン」と名く 四「ギロウリュッピン」 五「コイーンス・ベルグ」 一小都なり
此都の傍に世子の城なり極て荘麗 城内庭園に「プリュッセ」国の
武将の像を安置ス 六「ブランデンビュルグ」 口数一万一千、七「ラテ
ナ・ウ」 爰に「ゴローテン、ケウルホルスト」（大諸侯の爵号）の祠堂なり 此處、
千六百七十五年此処にて雪際亜國の兵と戦ひ是を破りし人なり
八、「カルロッテンビュルグ」 王城なり 九「プレンスロ・ウ」 十「ステンダル」 十一
「キュストリン」 十二「ランツベルグ」 十三「ステッチン」 口数二万千・王城
なり學校教所又「ワルデレッキ 第二世王の像なり 商賈繁
盛 諸般の工業なり 十四「ストラールシュンド」に数一万五千、眞富
地なり 十五「スウイチミュンデ」 十六「スタルガルド」 十七「コルベルグ」

十八「ストルペ」 十九「ブレ・ウスラ・ウ」 口数六万二千 是ハ「シレシー」
の總都にして頗る有名の都なり 二十「ブリーグ」口数九千・
二十一「スウウエイドニッツ」口数八千、二十二「アーグニッツ」口数一万
二十三、「ゴロガ・ウ」口数九千四百、二十四「シルヘルベルグ」一名城なり
巖 石上に建在ス 二十五「ヲッペレン」 二十六「チイセ」 口数一万
二千、二十七「グラッツ」口数七千、二十八「コーニシグス・ベルゲン」口数
五万五千「ジースト・プリュイセン」の總都頗ル有名なり 二十九「ビルラ・ウ」
口数二千、三十「ブラ・ウンス・ベルグ」 三十一「ブラ・ウエンビュルグ」 爰に
「ドムケルク」（大寺院をいふ）なり 千三百四十三年に没せる「コーペルニキュス」の墓
并に其造レる「ワーテルキュニスト・ユール・タルク」（水機の時辰表） 此寺になり

三十二「ナルレット」 三十三「メーメル」 三十四「マリーンウェルデル」 三十五「エルビング」
口数一万七千、 三十六「マリーンビュルグ」 三十七「ダンシフ」 口数四万
五千、三十八「トールン」 口数九千 「コーペルニキュス」之に生る 其祠堂有り
存在し 三十九「ポーセン」 口数一万六千、四十「スクウエリン」 四十一「リッサ」
口数九千、四十二「ラーウイス」口数八千、四十三、「ワイッテンビュルグ」「サキセン」
の領内に在り 四十四「マレゲンサルス」 四十五「エイス・レイベン」四十六
「クウエール、ヒュルト」 四十七「スクレーウシンゲン」 四十八「メルセビュルグ」 四十九
「ゴルリッツ」 五十「チュルガーウ」 五十一「エルヒュルト」 口数一万七千
此府の寺中北塔一大鐘を懸く重二万七千五百斤有り
五十二「ヘイリゲン、スタッド」 五十三「ミュラーウセン」 五十四「ノーグデンビュルグ」

二万八千口 有名都有り 五十五「ハルレ」口数九千五百 大學校有り
有名都有り 五十六「ノーンスヘルド」 古城有り 五十七「ハルベルスタット」
口数一万三千・五十八「アッセルス・レーベン」 五十九「エルリグ」 六十
「チュデル、スタッド」

第二十七篇 王國「プリュイセン」に屬する建國

第十四圖 Y に出し

Y土 ・「ホルステンドム」、「パーデル、ボルン」 其都亦是を十一
「パーデル、ボルン」と云口数五千四百・一大寺有り其中に「パーデル」河有り
其源三ッの涌泉より出り最急流あり源を去る事二十四「ミ」ケ
「レーデン」の所水車を運轉す也

Y十一「ホルステンドム、ミンデン」其都ハ五十三「ミンデン」ト云 口数七千
其近所ニ「ウエセル」山の大門ト唱ヘ名ヲ「ウエストハリセ・ポルト」ト
名ヅクナリ

Y十三「ガラーフ、シカップ、ラヘステイン」其都ヲ六十三、「ビーレ・ヘルド」ト云
口数六万 又一都アリ 六十四「ベルホルト」ト云 口数一五千

Y十四「ガラーフ・シカッペン・マルク」「エッセン」「ウエルデン」其都ハ六十五
「ハム」六十六「ズースト」六十七「アルテナ」六十八「ドルトミユンド」六十九
「リップ・スタッド」七十「エッセン」七十一「ウエルデン」

Y十五「ガラーフ・シカッペン・リンゲン」「テーケレンビユルグ」其都ハ
七十二「イッベンビユーレン」七十三、「テーケレンビユルグ」

Y十六「ホルステンドム、ミユンステル」其都府ハ是ニ 七十四「ミユンステル」ト云 口数一万四千 大學校一「ゲイムナシーン」武術ヲ習ハス処 三処
アリ

Y十七「ベルトクドム、ケレーフ」「ゲビード、エルテン」爰ニ属ス
七十五「ケレーフ」七十六「ウエルセル」口数八千、七十七「エムメリッキ」
七十八「ドイス・ビユルグ」諸都之總也

Y十八「ベルトクドム・ウエストハーレン」其都ハ七十九「アレンスベルグ」
八十「ブリルロン」・八十一「スタッドベルゲン」八十二「ヲルペン」是アリ

Y十九「ホルステンドム・シーゲン」其都ハ八十三「シーゲン」口数六千
土人専ニ鉄坑の業ヲ以テ生計トス

Y十一「ヘルトクドム ベルム」 其都ハ八十四「デュッセル・ドルプ」口数一万
五千 諸學の學校并諸術ノ学校一個アリ 又烟草 織「カシミール」
等の工業有り 八十五「エルベルヘルド」口数二万 工業と「ブレーケン」
布を曝す業あり を以て名有り 八十六「ソリンゲン」 八十七「ゲマルケ」
「バルメン」谷中ニ在リ 府長二里 土人専ニ工業を以て生計とし
Y十二「ホルステルドム」、「メウルス」 「プリュイス、ゲルデル」 其都ハ
八十八「メウルス」 八十九「ゲルデル」 九十「グレヘルド」
Y十三「ゴロート・ヘルトクドム」、「子ーデルレイン」 其都ハ九十一
「アーセン」又名「アーケン」口数三万七千 諸般の工業有り
九十二「ケウレン」口数四万三千 陶器及毛布の工業有り

九十三「コブレンツ」口数一万千 大商賈有り 九十四「ボン」九十五
「アンデルナク」九十六「ケレウツナク」九十七「テリール」九十八
「サールブリュッグ」「ヨハン府と只一橋を以て隔るのミ 九十九
「エーレンブレイトステイン」 百「サール・ロウイス」百一「サールビュルグ」
百二「ブリース・カステル」
右の外「ホルテレドム・子ウフカテル」又名「子ウエンビュルグ」此國
ニ屬ス 但此地ハ「スウイッセル・ランド」の條ニ出ス 又左の諸
國 爰ニ屬ス諸地 爰ニ屬ス即ち其都を百三「ボッゴルト」其都あり
「サルム」の諸地 其都を百三「ボッコルト」と云 其都を百四
「ヘートルレイキヘイド・ゲーメン」

「ガラーフレカップ、ゲルメン」其都を百四「ゲルメン」と云
「レイ子」「ウルベッヒ」の居長の領地是ハ「ハノーヘル」ニ属セざるの地
皆属焉。
「ガラーフレカップ、ステインヒュルト」其都ハ百五「ステインヒュルト」ナ
「ガラーフレカップ、レーケリングホイセン」其都ハ百六「レーケリング・ホイセン」
「ガラーフ・レカップ、ホルストヘル」其都ハ百七「ホルストヘル」
「ヘールレイキヘーデン、「レーダ」」ギュッテルスロー」「ゴロナ。ウ」其都百八
「子。ウスタッド」
「ヘールレイキヘイド、ホムビュルグ」」其都百九「ホムビュルグ」
「ヘールレイキヘイド、リユンゲル」

「アムプテン、「デールドルプ」「アルテインウイー
「ガラーフレカップ、子。ウ。ウイード」
「アムプテン、「ブラ。ウエンヘルス」「ゲレイヘンステインビ」「ホーヘンソルムス」
「ウイットゲンステインビ」の君矣国（ホルステンレイケラーデン）其都ハ百十「ラースヘ」
「属島」「リユゲン」諸島東洋中ニ在リ「ポムメレン」名地の所領ニシテ
其都ハ百十一「ベルゲン」此島ハ「レイ」ト山ヲ以テ「スチュッペンカムメル」ト名ク
右ニ挙ル「プリユイス」諸国「シレー」「ベルゲン」ト「旧王国プリユイセン」ヲ除ク
の外ハ皆独逸国同盟ヲリ
第二十八篇「ヨーステンレイキ」の帝國
第十四圏ヲ出ス

【封域廣袤】　北ハ「プリユイセン」及「サキセン」ヲ接シ東ハ鳥亜亜及都兒格ニ隣シ南ハ都兒格及意衣里亜ニ疆シ西ハ「スワイッセルランド」及獨逸同盟ノ諸國ニ極ル地方積、地理家ノ法一万十二百里

【氣候】　順良ナリ但海畔ハ頗ル不良ナリ又疫癘多シ

【地性産物】　高山多シ只北地及東北ハ平坦ナリ産物極テ夕タシ家畜、牛馬毛羊豕野獣「ビュッペル」ヲ産ス又魚類牡蠣真珠蚌蜂蚕芫菁穀「ライス」蔬菜「チート」南國菓材木「ポットアス」「テール」瀝青炭「ガルアップル」葡萄酒木綿（ボムバス）烟艸「タバコ」「ペニッップ」「ホップ」雑腹蘭甘草大黄金銀銅鉱鍚鉄亜鉛玉「ルメル」石　石麻硝石　磁器ヲ造ル土烟管ヲ造ル土「ケイアス」石灰「アスベスト」「メールスコイム」硫黄琥珀「チュルフ」石炭石塩海塩礬石

【諸水】　a「ドナウ」河　b「モラワ」河　c「エルベ」河　d「エンス」河　e「ダラウ」河此他湖河極テ多シ古ノ時湖二万ありとそ

【山】　山極テ多シ南部全地ノ山ヲ總称シテ「チロル」トイフ是ニ属スル諸山勝テ計フ可ラス故ニ其風俗亦各異ナリ

【國人】　凡一億四百万其人種一ナラス

【宗門治体】　羅瑪ノ「カトリック」イキ宗ナリ他宗モ亦行ハル

獨立毎兼の治方

〔區別〕此國ニ篇ニ分ツ爰ニ左の諸地ヲ説く

乙 下「ヲーステンレイキ」又名「アールツヘルトクドム、ニヲーステンレイキ」

乙一 中「ヲーステンレイキ」又名「ヘルトクドム、スチールセルク」

乙二 上「ヲーステンレイキ」又名「ガラーフレカップ・チロル」

「ボールアルベルクセ」ハ爰ニ屬ス

乙三「ヘルトクドム、サルスビュルク」

「ホルステンドム、ベルクテスガーデン」ハ爰ニ屬ス

乙四「ミルクガラーフレカップ・モーレン」

乙五 ヲーステンレイキス・シレレーン」

乙六「コーニングレイキ・ボヘーメン」

〔都府〕一「ウエーネン」「ヲーステンレイキ」の總都口数二十三万八千帝の書堂二十万部の書籍を蔵す又寶庫あり又自然物産と自然学と機巧學とのために設る機巧庫（機巧のためニ設るもの也）あり即「メターレンハンドル」のときを藏するあり此機巧ハ人の需ニ應して種々の文字を書く自ラ筆を墨壺ニ投して墨を縫き真行草三体を書く実ニ奇とすヘし又古物古銭「メダイリーン」を蔵し又公府殿堂数所あり　二「エンス」鉄及鋼鉄の工業あり　三、「リンス」口数一万九千官府殿堂数所諸般の工業あり　四「ブラウナウ」　五「バーデン」　六、「エイセンスタッド」

七「グラッツ」口数三万千・兵武庫二ツ有ニ奇産物の寶庫有リ又木綿毛絲剛鉄鉄及其他の工業有リ 八「ラドケルス・ビユルグ」・十「インチルベルグ」又名「エイズル・エルツ」此都山中の嶮鹿ニ建在ル鉄坑の業有リ又深キ洞有リ 十二「ヒルラク」鉛を産するニ因て名高し 十九、「インスブルック」又名「インヌスブルユック」此府西高山の間ニ有リ高七千尺平年雪を負ふ事五月ニ至る只千八百十二年七月尚く雪有リ口数一万・二十「ハル・イン・チモル」二十一「キユス、ステーン」其城巖上ニ建在す 二十二「テナロル」二十三「プリユデンス」二十四「ベルドケルク」二十五「ブレゲンス」二十六「サルスビユルグ」口数一万三千 諸般の工業有リ 二十七「ハルレイン」又名「ハル」

二十八「ベルグテスガーデン」塩を熬る業有リ 二十九「コレケルレンベルグ」三十「ヲルミユッツ」一万六千口、三十一「ブリユン」口数二万七千 官府殿宇荘麗を極む 三十二「アロウステルリッツ」三十三「タラッパウ」口数一万、三十四「エンゲルス・ベルグ」三十五「テセン」三十六、「フラーグ」口数八万四千 王城有リ 寺院ニ「カトペル」。伽藍凡ニ四十五所中ニ就く「コシント・ウエンセスラウス」カペル」[illegible]皆黄金宝玉を以て飾と又「カビユチイケルク」と名る寺王希世の「アルタール」「カナレ石」の卓案 神前の燈臺一千六百八十六の「ギヤ」宝石を以て飾と成又宮殿六十八及其他官府殿堂勝て計ふ可らざる諸般の工業有リ 三十七「レイセンベルグ」三十八「コーニングガラッツ」三十九

「ビユツト・ウエイス」四十「カーレルス・バツト」温泉あり又諸般の工業あり四十一「ヨアヒミスダル」銀坑又「コバルト」坑あり四十二「テレシン・スタツト」。

第二十八篇「ヲーステンレイキ」の帝國に屬する諸國

翁加里亜「セーヘンベルゲン」「ガルリシー」「ロドミリー」
「ビユコウイナ」「スラホニー」王國イルリヽ」「イルリ」
又「コロアチー」「ダルマチー」「カリンテン」又名「カライン」
又名「カルニヲレン」「チスワリクテン・シヨウイダル」「ガラチスカ」等を總攸
第十五圖に出ん

第一 王國翁加里亜

「封域廣袤」南「スラホニー」及「セルヒー」に隣し北「ロドミー」に接し東「ワラケイ」及「セーヘンベルゲン」と疆を接し西前篇に挙る所の諸地に抵る地方積二千七百獨逸里あり（獨逸國道法）

「氣候地性産物」平地多くして山地は僅かに間あり又大抵豊沃にして磽确不毛の処至数擧るに遑きば北地は冬月至て寒く南地は夏月暑熱甚し諸穀「ヲーフト」葡萄を産する事至て多し葡萄牧畜豐饒其數四百種あり中に就く「トカエイル」葡萄と名る者最佳なり又烟草「ヘニツプ」「フラス」雑腹蘭 家畜 魚類 蜂 材木

金銀及其他の礦類石炭礬石硝石塩「コル元石」を出す

[諸水] a「ドナウ河」 b「ダラウ河」 c「サウ河」 d「ティッセ」

e「プラッテン湖」 f 新「シードレル湖」

山 ◎「カルパチセ」連山（山簇）

[國人] 勇敢にして善く戦ひ又事を好み業を勉む

又甚だ能く長上に親附す

[宗門治体] 羅瑪の「カトレイキ」宗なり他に「プロテスタント」宗

「ガリッシヤ」宗「ヨーデン」宗も間に是有り 治 家主政治なり 而して

権は大國の名臣に分つ

[區別] 二部に分り

A 下翁加里亜

B 上翁加里亜

右の二部又「ドナウ」河内と河外と「ティッセ」河内と河外とに

随て東（四）に「クレイセン」に分り

[都府] 一「プレッス・ビュルグ」 國中の美都なり但人民

斯く甚だ富庶ならん國王位に即くの地なり 口数二万七千

王学校あり 又「ガラン」の「アールツ・ビスコップ」（高官の僧）の居所あり

二「チルナウ」 三「子ウソール」 四「クレムニッツ」 五「ヲーヘン」又名

「ビュダ」 國の總都にして王の治城なり 口数二万一千

六、「シケムニッツ」口数二万二千、七「ベストト」「ユニベルチテイ」大學有り
八「カラン」一都城十、「ラーブ」土「エペリース」上翁加里亜ノ
總都十二、「トカイ」市場有り十三「コ」「ウト・シカ。ウ」十四
「エルラ。ウ」十五「ゴロート・ワラデン」一都城有り
學校有り十六、「デブレキン」翁加利亜中富繁ノ都
口数二万九千、十七「テメスワル」一都城有り
第二「ゴロート・ホルステンドム、「セーベルゲン」
5「コロス河上ニ在ル地方積千八百獨逸里口数
百四十方地大抵山有リ甚丘陵ノ地最葡萄ヲ産シ
又良穀「ヲーフト」家畜蜂ヲ産シ又諸般ノ礦類最
諸金ト塩トヲ産シ羅馬ノ「カトレイキ宗又「ゲレホルメールド宗
「リユッテル宗「ソキニヤ宗「アルメニール宗行ハル
「都府」十八「コルニンスタッド」口数一万三千「リユッテル宗ノ
學院有リ又皮革火薬「ウルレデーケン」ノ毯被ノ工業アリ
十九「カラ。ウセンビュルグ」二十「コロンスタッド」二十一「カールルビュルグ」
又名「ウエイセンビュルグ」山城有リ學
ノ學院硝石水銀ノ工業火薬ヲ製スル廠有リ
・第三主國「ガルリシー」及「ロドミリー」
地「カルパット」ノ山脈ニ沿ヒテ甚涸シ氣候ハナハダ寒
冷有リ但谷間ハ温和ニシテ順良有リ塩家畜毛羊

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2
ガラス使用

蝋蜜灸内穀「ヲーフト」烟草材「マルメル石」石麻「アガート」
及其他の宝石「スピースガラス」鉄鉛銅硫黄泉、を産れ
「都府」 二十二「レムベルグ」國の總都口数四万五千其内一万
四千「ヨーデン」宗なり官府数所諸般の工業あり 二十三「ランツ
ヒユツト」巨大の「ブレーケレイ」布を晒す所なり 二十四「ヤロスロ。ウ」二十五
「ブロデイ」口数二万四千其中一万六千ハ「ヨーデン」宗なり商賈
繁盛殊に蝋、笠「ペルス・ワエルク」馬、乾葉小茴香の商々
なん 二十六「ウイーリツカ」塩坑あり六百年前より之を開く
礦夫三百人巌石を穿ち其中に庫一庭「カーペル」寺等を建て

居住す地中府と謂ふ可き歟毎年塩を産する事百万
「センテナール」纆を以て計ふと云
第四「ビユコ。ウイナ」
地ハ翁加里亜の東に在り其都ハ二十七「ツセルノウイッツ」口数
六千「ゲリツシヤ」國の「アールツ・ビスコツプ」高官僧の居処なり
第五 王國「スラホニー」「セルミー」も是に属し
地「ドナ。ウ」河「ダラ。ウ」河「サ。ウ」又名「サヘ」河の間に有り其
都ハ二十八「エスセツク」二十九「ペーテルワルヂン」三十「ゼムリン」是ハ
「ウエーヲン」と「コンスタンチノツポロン」と人の間になる商地なる
王国「イルレイリ」に属する國ハ

第六「コラチー」
地「スラホニー」の西に在り 其都ハ三十一「アグラム」又名
「サグラブ」三十二「ワラスヂン」温泉在り三十三「ヘイト」木綿
烟草砂糖皮革等の工業在り

第七「ダルニチー」
「アトラチ」海中の諸島皆之に屬す 其都ハ「ダルニチー」ニ屬ス
口数七千 陸軍兵ニ海軍の武庫在り又蝋絲皮革鞍等
の工業在り又「ホルニーリヘ・レピュブリーキ・ポグリッサ」ハ「ダルニチー」ニ屬ス
地「キリッサ」と「ヂュアラ」との中間に在り口数二万 其主を「ゴロート。
ガラーフ」と称し毎年大會の市日の時是を撰び立り其總都
を「ベリュンヂュブラハ村」と云又「レピュブリーキ・ラギュサ」ハ「ダルニチー」ニ屬ス
其都を三十五「ラギュサ」と云又「アルバニー」の中ニ地屬ス 其都を
三十六「カッメロ」と云其村落十七在り

第八「カリーテン」
此國千八百十六年八月、前の二國と相兵て一王國とある 其都ハ
三十七「ルリー」三十八「カラヒルド」三十九「ライバッリ」四十「ホルステ」イケ、
「アロウエ、ベルゾセ、ヘルトクドム、ゴッゼイ」四十一「カポヂストリヤ」
四十二「テリースト」四十三「イドリヤ」四十四「ゴンツ
「フ」イスメット、カラカロウ」
其都 三十七「カラカロウ」「ガルリーレ」と「ボー
レン」の間に在り

口数二万六千廣大書庫五所望星臺一菜園一
寺七十二所アリ中ニ就ク「ポール」國古代の王廟并ニ「スタニスラウス」人名
の墓所在る所の「ドムケルク」寺最大観る可しとれ此國ハ
「プリユイセン」國「ヲーステンレイキ」國魯西亜國ニ服事して其保護
の中ニ在て故ニ鉄和の他郡ノ兵乱ニ逢ひ又廣ク四方海
航海通商すると雖暴奪ニ遇ふ事あり

第三十篇 歐羅巴都兒格

第十二圖ニ出れ

「封域廣袤」都兒格土也「ヲットーマン」二國と云北ハ魯西亜「セーヘンビルゲン」翁加里亜「ビユコ○ウイナ」と疆を接し西ハ「ダルマチー」「アトリアト」海E地中海ニ沿ひ南ハE地中海ニ抵て東ハ魯西亜黒海「コンスタンチノッポロン」の海渡「マルメル」湖「ダルダネルレン」山「アルシペル」山ニ抵る地方積九千里獨逸里ナリ（朱書：○獨逸国乃法里）

「氣候」北地及山地ハ極て寒冷南地ハ大ニ温なりすることハ方積千里の地冬時氷雪を見ざる処アリ但此國「サムミユム」風吹て往々人身ニ害をなれ又毎年疫疾行ハれて大ニ人民を夭傷す州として数州を連て全く荒地となすものアリ

「地性産物」地大率山多し又砂土及湿澤多し然れ共豊厚なり人家ハ至て簾悪なり穀米葡萄乾葡萄「コーレ」

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号　寄別14-2
ガラス使用

「テニ」南菓「ヲレイフ」油 木綿 烟草「タバコ」 雑腹蘭
没食子 材「ハルスト」を産す 又牛馬「ビュッヘルス」驢駱駝「ドロムメ
ダリッセン」毛羊・中ニ就く其腸毛行了ゑ並ニ尾渦大のもの
翁加里亜野羊「ガセルレン」野鳥獣 蛍蜂 紫貝「ピュルペルモッセル」 金銀銅鉄
鉛 塩「マルモル」石 染料 砥石「メールスキユイム」礬石 硫黄「ミネラール」
「ナフタ」「テール」井 等を出だ
〔諸水〕 B 黒海 C「マルメル」湖 〔旦〕「スタンチノッポ昷」の「ストラート」
「ダルダチルレン」一名「ヘルレスポント」河 あり D「アレ」ニ河 a「ドナウ」河
6「モラハ」河 メ「プリュット」河
〔山及崎〕 C「バルカン」山簇「ハミュス」此山簇「ビュルガリー」の

南境ニ亘て各処其名行り d「ゲリッシャ」の山簇 ラッカ「チリムピユス」
是ニ「テムペ」「キッサホス」〔ラッサ〕「メソウラ」「ピンヂュス」「リユカラ」「パルナシウス」
「サガラ」〔リコン〕等の諸谷属す ※「コタバン」崎
〔國人〕 人類一ヲ引ル雌冠勤労亜人を除くの外いずへ「ゲリッぺ」人
學文藝術を好まず 又歐羅巴 宗門 混淆 文迷 …
口数九百万あり 口数九百万
〔宗門治体〕・一國「マホメット」宗を奉ル 法主を「ミユフテ」と称し
治ハ獨立 失君の治あり 法徒 先ニ國人なる主たる要王を
「大ミュルタン」又大君 又都児格帝と称し 其都府を

「プルヘーヘ子・ポルテ」と名く國政并ニ軍事を司る高官を大
「ビレーリ」と称し郡縣の守護を「ベクルベクス」又「パスカス」又
「サンドシヤーケン」と称し
【區別】 都兒格人自ら其國の區別を記せる所ろ [illegible]
[illegible]あり
ε「ロミニー」η「ビユルガリー」ι「モルダビー」ζ「セルビ」
μ「ポスニー」ν「コロアチー」ο「ダルマチー」ρ「アルバーニー」σ「マセ
ドニー」τ「テサリー」υ「リハヂー」七「モレヤ」并ニ「エイラジデ」
都兒格人「コンスタンチ・ノツポヒ」「アドリヤ・ノーペル」を以て二總都とし
次ニ三ツの「ベグレル・ベグリーケン」の府（大臣）を置く「ベグレル・ベグリーケン」ハ

屬下数多の「サンド・シヤーケン」の府（郡主）あり右の外ニ「ミツデル・バーレランデン」
公家ニ屬せずして有り是ハ大「ヱユルダ」の屬下の「ホルポダルス」（官名）の領
中辛する諸王の義
地なりすなハち
第一「コンスタンチノツポレン」
第二「アドリヤノーペル」
第三「ベグレルベクリツキ、ロミニー」
第四「ベクレルベグリツキ・ポスナ」
第五「モルダウ」「モルダビー」
第六、「ワラヂレー」

【都府】
一「コンスタンチノツポロン」 前都 七ツあり 口数五十万

大港アリ又「セライール」（王の宗族夫人の居館）アリ周二里廣大の庭園
及十萬人の住家附馬又古「セライル」アリ是ハ「シュルタン」の
一族及皇子皇女の居館なり又図園七所大寺四百八十五
「カーペル」寺小寺数百尼勒祭亜宗の寺二十三浴室百三十所學院
五百十八童子ノ學校千二百五十五其他官府数百アリ蚕絲織
「サグライン」及其他の工業並ニ大商アリ二「アドリヤノペル」
「セライル」（王の宗族夫人の居館）並ニ諸般の工業アリ三「エッキ・インドレギス」此
府の近所ニ巖上の住家アリ四「ケルク、エックレシー」多く
葡萄を産ス五「ヒリストリヤ」六「ニコポリー」七「ウイッジン」
八「ソーヒヤ」九「ヒリベ」（ヒリッポポリス）浴室「モスケーン」（マホメット宗の）寺

「カラハンセラス」（大商群を為して旅行する商人の旅館）并ニ大商アリ十「サロニカ」口数六万
「ヨーデン」教の学院アリ「ホラ」と名く爰ニ教師三百人四歳より
十歳迄ての童弟千人アリ又會堂数所又諸般の工業アリ
十一「ラリッサ」「イニッセル」十二「アテーネ」十三「ミシトラ」此府の近所
ニ「スパルタ」の遺跡アリ又「ニイノーテン」千五百人住する山村アリ
皆山賊海賊を以て業とス十四「コリンテ」堅城アリ櫓
三百六十、十五「レパント」十六「デュラッソ」十七「ゼッチン」又名「ゼッチフチ」
「モンテレグ子」の總都なり敍級勇猛の「モンテ子グロ」人を總ぶ
十八「ベルガラード」口数三千此地翁加里亜と都兒格との中樞
ニ當る大商都なり十九「カラギヲスカ」「カラゴイーハス」「セルヒ」の

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号　寄別14-2
ガラス使用

執政の會所あり千八百十五年十月の會の後「セルヒセ」の諸城
悉く都兒格領となる而て其人降る事を肯せす一家屋租税
を出す事年に一「デュカート」名貨、一年に一「ピアステル」名貨あり
「セルヒヤ人」多く侯を「デヒアン」河上に置き疑行りし報する時
兵士一万二千人を發して之を禦かしむ 二十「ボスナセライ」口数
六万五千、二十一「ヤッシ」口数一万五千、二十二「ビュカレスト」口数
四万二千

「諸島」 d「クレッタ」又名「カンヂヤ」 i「サモス」 f「レモノス」
a「パロス」 b「テチトス」 c「ロデュス」 g「サントリン」 e「子グロポント」

此島一橋あり陸地に往来し

第三十篇 亜細亜

第十七圖に出す

「封域廣袤」 北ハ氷海、東ハ大平海、南ハ印度海
西ハ欧羅巴「アソフ」湖「カッハ」の「ストラート」黒海「マルメル」湖「アル
シペル山」「スエス」の「ランドエンゲテ」亜刺比亜の灣に抵る 地方積。地理家ノ法
七十六万五千二百八[illegible]里 口数五十億

「諸水」 北ハ a「カリッセ、ゴルフ」 b「ヲベイ」の「ゴルフ」 c「コンラッカ、
バーイ」東ハd加讃西加多加の「バーイ」 e「チュンギュンセ」の「ゴルフ」
又名「ラムゼー」又加讃西加多加海と云 f日本海 g朝鮮

の「バーイ」 h 東京の「ゴルフ」南ハ i「ヨシアム」の「ゴルフ」 K「ベンガレ」の「ゴルフ」 l「カムバイ」の「ゴルフ」 m 百尓西亜の「ゴルフ」
n 亜刺比亜の「ゴルフ」又名紅海 o「ストラート、ワーイガット」
P 韃靼の「ストラート」 q「マラッカ」の「ストラート」 r「ストラート、シュンダ」 s「ストラート、ヨルシュス」 t「ハベルマンデル」の「ストラート」
u「ダルダネルレン」 v 北高海 w「アラル」湖 x「バイカル」湖 ij 死海 z「サイサン」湖 其河ハ a「ヲベイ」 b「イーニスカ」 c「レーナ」
d「アミュル」 e「ホアング」河黄 f「キアング」江 g「ガンゲス」安日 h「インヂュス」 i「エウフラート」 k「チグリス」

〔山簇〕 諸山の本幹ハ l「ホグト・ヲラ」 m「カウカシュス」

o「アララット」あり

〔氣候〕 一分ハ熱帯ニ係て一分ハ寒帯ニ係る而して正帯其大分ニ居る是ニ因て亜細亜洲の氣候を三等ニ分け曰北部曰中部曰南部 北部北極出地六十度より七十八度迄てハ氣候大率寒冷而して其水邊ハ兼て多湿なり 中部北極出地四十度より六十度迄てハ氣候乾燥にして不正するハち夏月ハ大熱にして冬月ハ大寒なり 南部北極出地九度より四十度迄てハ北ニ向へる諸山の間ハ氣候温和にして清浄なり漸く南行するに随て大熱にして且多湿中に就く「サミュム」ハ暑熱甚酷烈なり

此地一年二季あり即六月〔春節〕の頃より八月〔本邦の六月頃〕の末迄ハ雨湿なりて九月〔本邦の七月〕より翌三月〔本邦の正月頃〕迄乾燥なり

〔區別〕亞細亞ハ自然の地形に随て三部に分れ曰北亞細亞曰中亞細亞曰南亞細亞是なり左の諸邦を總ぶ

第一 亞細亞魯西亞
第二 韃靼
第三「カウカス」の諸國
第四 亞細亞都兒格

第五 亞刺比亞
第六 百尓西亞
第七 東印度 一西半島
第八 東半島 一後印度
第九 支那
第十 日本
第十一 東印度諸島

第一 亞細亞魯西亞「しべり」共云
魯西亞韃靼

「封域廣袤地性産物」 西ハ欧邏巴ニ傍ひ而して
北氷海ニ沿フ処ハ氣候至て寒冷ニして人之を諺ニ称するに至る
西南の地ハ氣候温和なり 東と南の地ハすべて山なり
只「イーニスカ」河の邊ハ平地なり 此地穀作至て豊富 但
蔬菜ハ良からず 又大黄「フラス」「ヘンニップ」 材木 松樅
「シベリセ・セーデレン」ニ産するは「シベリセ、セーデレン」の液を以て上好
の食油を造る 又苔、牛 馴鹿 狼熊「ベーヘル」「ウェーセル」
「ルメレイ子ン」狐「サーベル」「エーキホールン」魚 蝦 鉄 海塩 井塩を
出す 地方積十八万五千里 口数百三十万 此地魯西亜領
にして四ツの「スタッド、ホウデルシカッペン」地なり 奉行 ニ分ツ即ち

a*「トボルスク」 b*「トムスク」 c*「イルキュスク」 d*「コレイウン」
「都府」 一「トボルスク」「セミナリウム」童子之教ゆる学校 一、共学数所
なり 又皮業の租税なり 二「ベレソウ」 三「トムスク」 四「イーニヒカ」
五「イスキュスク」「セミナリウス」航海術の学校及昏堂なり 六、
「キャキタ」一都城なり 七「子ルレキンスク」軍学校 金銀坑
なり 八「チレンスク」 九「カムシカットカ」即ち「カムシカットカ」の半島
なり 又「キリギセン」又名「キリギセ、コサッケン」の諸地も魯西亜
ニ属して分て三部となる 大「ホルデ」聚落 中「ホルデ」 小「ホルデ」
なり 其中ち「小ホルデ」と「中ホルデ」ハ魯西亜ニ服従す 大「ホルデ」ハ
独立して服従する所なり

第二韃靼（獨立韃靼）

「封域廣袤地性産物」　北ハ「キルギセン」ノ國ヨリ亜細亜鳥西亜ノ一部ヲ極メ東ハ支那南ハ印度西亜ニ接シ西ハ「カスピ」海及鳥西亜ノ地方ニ極ル地方積三万千百六十里ロ数二百万大率日ホメット」宗ニシテ地大抵山多ク又ニ三ノ河Wアラル湖有リ牛馬毛羊駱駝野鳥獣蚕穀木綿（ホムワタ）大黄（ラウ）「フラス」「ヘニッパ」烟草葡萄「チーズ」ヲ産ス但村ハ至テ乏シ又鉄銅金砂塩「ラピュール石」「スラッデン」ヲ産ス

「國人」　其人類数種有リ

「コワレス」是ハ「トルコミテン」及「キワス」ヲ總称ス其都ハ「キワス」ト云「ユルゲンス」有リ

「コラテン」又名「アラルセ・ダルダリ」其都ハ十三「タスケント」周リ二里半戸数一万

「コカン」其都ハ十三「タスケント」周リ二里半戸数一万

口数四万、西「トルケスタン」（杜尓格斯當）

「カラケルパケン」ノ大ホルデ

「キルギセン」ノ大ホルデ

「ゴローテ、ビュカ」（蒲加剌得）

其民畜（農）業及手工ヲ勉メ鳥西亜百尓西亜（撒馬兒罕）「サマルカント」ヲ、「ビュカラ」ヲ、其都ハ十五「ビュカラ」ヲ、其都ハ十五

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2
ガラス使用

「ヨホメット」教の大學校有り

第三「カ。ウカシセ。ストレーケン」

地黒海の西亜都兒格の間に夾在し「カ。ウカス」山脈を以て其疆とし方積三千七百八十四「ゼヲガラヒー」里口數八十万牛馬毛羊駱駝「ボッケン」野鳥獣「ハサンテン」禽蜂葡萄「ヲーフト」穀雜腹蘭「アラス」「ベニップ」「ボル」綿塩硝石硫黄鉄銅鉛金砂銀「ニルメル石」「プメ」之産し國中年長を撰て主とす其命を聽從す又他國に服從し田獵耕作刀劒小刀及其他の鉄冶を業とし又虜掠を以て

第十七圖に出し

第四　亜細亜都兒格

地中海及黒海に對置し其中に大山脈「ヲリムピュス」「タ。ウリュス」又「タ。ウリュス」の支山リバノン「アンチ。リバノン」是より地方積二万四千三百「ゼヲガラヒー」里口數一億百万

諸水

一　死海　一「エ。ウフラート」河　K「チグリス」河

都府

十七「キュタイー」温泉有り　十八「ブリュッサ」（プリュッサ）「ヲリムピュス」山の麓に有り口數十万蚕絲及び「モ。ウセレン」の工業有り　十九「アンゴラ」「スミルナ」口數十万

千八百十四年疫癘大ニ行き是ニ因て斃るヽ者五万人
二十一「ベルガモー」「ベルガメント」の工業なり　二十二「アレッポ」
口数十五万繁盛の都なり　錦繍工業を以て名高し　二十三
「アクレ」「カルメル山の麓ニあり　二十四「ダマスキュス」口数二十万
「デーゲン」「キリシゲン」ト毛布絹布石鹸の工業なり　此都ハ
「メッカ」ニ通商する大賈の會所なり　二十五「イーリュサレム」
口数二万、二十六「ガーサ」　二十七「ベトレヘム」　二十八「ヂアルベキル」口数
五万、二十九「モーウソル」三十「アルセリュム」口数十五万、三十一「バグダット」
口数十万、三十二「バッソラ」口数五万

第五　亜刺比亜

「封域廣袤」　半島にして北ハ亜細亜都兒格に接し
東ハ百爾西亜の「ゴルフ」ニ臨ミ南ハ亜刺比亜海ニ瀕し
西ハ紅海及亜刺比亜の「ゴルフ」ニ抵る　蓋此「ゴロフ」ハすろハち
「バーベルマンデル」の「ストラート」を以て黒海ニ接するなり　地方積（地理家乃法）
四万五千二百十三「ゲオガラフヒー」里
「氣候地性」　夏月苦熱殆と堪かたし　只清風又夜間
の涼氣ニ因て稍苦（是）苦を甘和す　又屢「サミュム」風吹くを以て
人の害となる

［産物］駿馬 野驢「ビユツヘル」毛羊 獅 虎 米「ミナ」
砂糖 葡萄 木綿「コツヒー」「ゴム」「ミルテ」蘆薈 塩 鉄
銅「ヲニキス」「アガート」等を産す
［國人］口数一億 其民或ハ家属を率て遷移し或ハ
手工を以て業とし或ハ虜掠を業とす
［都府］三十三「サナ」三十四「モカ」又名「モツカ」三十五「ダホル」
三十六「ミスカツト」口数二万五千・三十七「ヂユエ」「ウエカビーテン」の總都
石屋二千五百有リ 三十八「メツカ」「モハムメツト」出生の地 三十九
「メヂナ」「モハムメツト」の廟有リ 此近所ニ荒廢の地有リ「ヒリー」
と云 處ニ 四十「タドモル村有リ 又「[illegible]ミラ」府の墟有リ

第六 百尓西亜

［封域廣袤］北ハ魯西亜及「カウカス」の國と疆を
接し 東ハ印度ニ隣し 南ハ印度海ニ臨ミ 西ハ百尓西亜
及都児格の「ゴルフ」ニ據る 地方積 三万七千二百四十方
里
［氣候地性産物］北部ハ山地ニて寒冷なり 其他砂漠
を除くの外ハすべて豊饒なり 夏月常ニ長くして乾燥なり
五月（本邦の三月）より九月（本邦の七月）の内ハ雨なし 露多くして降るなり

大麦小麦「ピユルセミ」采「ゴム」涂料雑腹蘭「フラス」「ペミニップ」
茴草藍「コミナ」「バルセム」乳香 烟草 木綿 桑椹
「ボルストベッチン」油 枸櫞 橙 蘆 葡萄 材木 欧羅巴の諸獣
鉄 銅 鉛「マルメル石 磁器の土「ナフタ」「ミユム」絶品の「バルサム」
寶石等之産く

【國人】人種一ならず 術學を勉むと雖も 精巧に至らず
未た[illegible]學校教所 讀書 筆習 算術
詞学 文学 詩学 道教 他邦の詞を講習す 最星学
を研精し 口数二億二百万

【區別】西百尓西亜と東百尓西亜 二分ち 又東印度の

及「ピユカル」の地を奪ふて是を領す

【都府】四十一「タロウリス」口数二十五万「カラハシセラス」
三百「モスケー」寺 二百五十 煩を鑄る処 瓷の工業あり
四十二「ラスト」四十三「イスパハン」最早万又大近の遺跡あり
又美観の「ラーチン」の類 及 庭園あり 四十六「カスハン」
温泉数所「カラハシセラス」旅館 大なる「モスケー」寺 諸般の工業あり
四十五「カスビン」口数六万 有名都なり 此都の近所に
「ペルセポリス」古都の名 の址あり 長一三里 四十七「ケルミン」口数
一万八千、四十八「カムロン」良港あり 四十九「ヘラット」
五十「カンダハル」五十一「セリガナル」五十二「タツダ」又名

「ミンド」國王の廟に依り荘麗比なし

第三十三篇 亜細亜の續説

第三十七圖に出る

第七 東印度（イーンドスタン）

亜細亜洲中最大最冨庶の地なり其詳なる事得て説く可らん

「封域廣袤」西南は西界は西亜及びインヂス海に起り東經度百十度北京の緯度三十三度に至る 地方積。地理家乃法。七万ゼヰヲガラヒー里口数三十億

「氣候地性」北地はすべく山なり △山簇「ガーテス」

此半島の正中に亘りて。此國を東西二部に分り之に因て東西氣候相反する事を致せるなり東邊夏候清暑なる時は西邊は雨湿にして冷寒冬の候を現するなり 凡そ地大抵豊饒但海邊は湿澤にして物を産せん又北地は清涼温和南地は酷熱但梅雨の時候其暑差減る

「産物」象 犀虎「ヘイナス」豹「ヤリハルセン」猿 牛「ビユツヘルス」駱駝 馬 毛羊 野羊「ガゼルレン」孔雀 鸚鵡「エイゲルス」蚕「コッセニルレ」真珠「レロウセンモッセレン」魚類 蛇 鰐 穀 米「ライス」砂糖 胡椒 生姜「コッコスボーヲン」

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』 請求記号 寄別14-2
ガラス使用

「ヲート」葡萄 南菓「プロード、フリュクテン」絶品の「パン」
材木 薙腹蘭 龍腦 阿仟硝石「ギヤシ石」「ヲヨイキス」
「ロベイン」「サヒル」「アニチスト」寶石

「區別」其國政の別に依て之を區別せり是ろ
A 亜細亜領 B 歐邏巴領

A 亜細亜領の建國

A「シケイクス」の諸地
B「ゲビード・デ・ズヤーテン」
C「ニラッテン」
D「ゴルカ國」「ホルステンド」・「レリナギユル」屬焉

「都府」一「ラホル」 莊麗の宮館 天子の「モスケー」寺あり
二「ミュルタン」三「ビュルトポ。ウル」四「ピュナー」五「ユゲイン」又名「ユドセン」
有名の一商都 古昔「プラミシヲン」名 布施の地ろ「ゴラミシヲン」
の「テムペルス」社堂 八十四所あり 六「ナグポ。ウル」
八「シンド」九「レーワ」十「ゴルカ」十一「シリナギユル」十二「サラムポ。ウル」
大商都 東方國辞の經典板行の業あり

B 歐邏巴の領地
E 英吉利亜の領地
E* E**
F 柵郎察の領地
G 和蘭の領地

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』 請求記号 寄別14-2
ガラス使用

其

波尔杜尾尔の領地

I 第那瑪尔加の領地

英吉利亜の領地 方積五万獨逸里口数五億而して
三「プレレデン・シカッペン」ニ分る即ち

E 「カルコッタ」「ベガレン」E* 「コゴラス」E** 「ボムバイ」

「都府」 十三 「カルコッタ」東印度「ブリット」領の總都にて
大商地なり周り七里口数五十萬 諸學藝の館院
商場ニ 商官府七 諸般の工業并ニ造舟業行り
十四 「メッカ」緞密の「モ。ウセレン」を立生す 基綠の大商行り

十五 「パトナ」口数十五万、十六 「ベナレス」口数五十八万、
印度國中学生の會所ニ而 「ヒンドス」名人曽て布施ヲ
行ひし地なり 又苗用諸品の工業行り 十七 「コトラス」
口数三十万 一大橋 有 「ボーゲン」三千九 又諸般の工業行り
十八 「ガバトナム」口数三万ニ千、十九 「ゴルコンダ」「ギヤシン」名
の名所 二十 「ボムバイ」即ち「ボムバイ」島の 都 口数二十万
館院数所 造舟業行り 二十一 「シュラッテ」口数十万
商賈繁盛 工業多し 二十二 「カナニュル」此都一織土ニ
建在す 「ギヤシン」石を産すること極て多し 以て十万口ヲ
養ふ可し

F. 拂郎察の領地

其都 二十三「ポンヂセリ」北地「コロンデル」み海濱こ有り
「ラバル」人 四万口 歐羅巴人三百口雜居ル

G 和蘭の領地

二十四「バリヤカテ」「コロンデル」の濱こ有り 二十五「コレン」
「ラバル」の濱こ有り

H 波尔杜尾矣の領地

二十六「ゴア」「ラバル」の濱こ有り 二十七「デヲ。ウ」

I 宋那瑪尔加の領地一

二十八「メランケバル」(ガリンケバール)」口数一万五千

第八 東半島「アルテル・インヂー」

「封域 廣衰」 支那「チベット」「インドスタン」と疆を接ル
地方積 三万八千「ゼヲガラヒー里」口数三億四百万

「産物」 象「ビュッルス」麝虎 諸般の鳥類 食用ころ
鳥巢 魚鮫 穀 米 砂糖 菓蔬「サゴ」「シンゴス」「アナス」
「コーコス・ノーテン」「ベーテル」油 葡萄 木綿 藍 貴價の
材類「ゴム」漆 蘆薈 金銀鉄鉛錫寶石等

「區劃」 J「シケム國」K「ビルマ」の國 L 王國「シヤム」
M 半島「マラッカ」數國を總攻 N 帝國「トンキン」東京
「シヤム」の「ゴルフ」の邊こ一港都有り「ポンチヤーマス」と名く

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』 請求記号 寄別14-2
ガラス使用

一千八百年代前ニ建テシ所ナリ

「都府」「ソーポレ」三十「アミュラピュラ」三十一「アハレ」三十二「ペギュ」三十四「ユチヤ」此都竹柵ヲ以テ郭ヲナセリ口数十万九千、三十五「コラック」三十六「トロミガノン」三十七「カコ」三十八「コナエロン」

第三十四篇 亜細亜ノ續説

第十七圖ニ出ル

帝國支那ハ本國支那并ニ其他ノ属國ヲ総称

地方積二十万令七千里口数三十億

第九 本國支那

「封域廣袤」 北ハ「ドンギュシー」及「モンゴリー」古韃靼ニ接ス此境ニ長城アリ長五百里高山深谷及河ヲ通リテ之ヲ作ル東ハ太平海ニ臨ミ南ハ印度海及東洋ニ接ス西ハ「チベット」ト疆ス地方方積八万千百二十五独逸里（独逸国道法）

「氣候地性」 北地ハ寒冷南地ハ夏月大熱アリ冬ハ暴風大雨多シ地すへて山多シ而モ土人能ク稼穡ヲ勉ルガタメニ豊饒ナリ

「産物」 金銀 是ハ格別用ニ供スルナシ 銅 鉛 錫 鉄 石炭 磁器ノ土 寶石 穀 米「ヲーフト」 南菓類 葡萄 大黄 木綿（ボームウール） 茶 砂糖 樟脳 材木 竹 駱駝

国立国会図書館 タイトル『新撰地誌』 請求記号 寄別14-2
ガラス使用

馬牛毛羊無髯獅子鹿野猪「ゴウド、ハサンテン」「シルフル、ハサンテン」魚類金魚蚕等

「國人」口数十億 甚だ學藝ニ富む事亜細亜洲中只日本を除く外ハ其右ニ出るなし 蚕絲木綿「チーテル、ヅーク」「イホーレン」繍工紙時辰表の工業なり

宗門ニ三派なり「ラマッセン」又名「ホー」即佛「ラヲキウン」孔子「コンヒュシウス」孔夫子 老子 宗あり

「都府」此國十五「プロビンチーン」ニ分り毎氏其次序未審 故ニ只其最大の都を挙く

一「ペキング」ニ北京 口数凡十万或云二百万 其前都を閣く外周り五里甚長き通街あり「アルターレン」八「ヘイデン」宗の寺三十三「コロースデルス」寺の類数十「マホメット」宗の「モスケーン」四 幼院一 帝廟七 官府数所 星學院一 医学院一 學校一あり 大街小街とも各戍士を置て守らしむ 戍士皆戟と「スウェルド」とを手にして立ッ 街皆毎宵柵戸を以て之を閉る

二「ナンキング」南京 口数百万ありて高塔あり高二百尺 陶を以て之を造る又昏堂数所 諸般の工業あり

三「カントン」廣東 口数七万五千或云二十五万 其三の一ハ舟中の業をなし

四「カカヲ」波尓都厓尓ニ属し國人毎歳十万「ヂュカトン」を以て貢とし

支那属國

支那の屬國其封域廣袤未審の処仍て今以て後に只其略を挙く

P 小ビュカレイ」（「ヲースト・サガタイ」「カスガル」又名「カラ・キタイ」）

地方積一万今五百ゼヌガラヒー里但其四百里ハ砂漠ナリ

口数三十万其人「カラハン」商教百人隊を乃至千人隊を以て他邦に商すると名て赤云

其總都を五「イールケン」と云

Q「モンゴリー」（蒙古ナリ）

地方積五万三千百三十「ゼヌガラヒー里」但其大半沙漠ナリ

口数百万大率獵を以て業とし其都を六「タールー」と云

R「チュンギュシー」（「アミュルランド」）

地方積三万六千二百五十「ゼヌガラヒー里」

口数百七十万大抵獵を業とし

S 半島「コレヤ」朝鮮

地方積四千「ゼヌガラヒー里」口数百五十万其北地の山岳雪常に満るが為に至て寒冷豊饒ならず南部は米木綿「ラス」烟草牛馬熊鰐蜜真珠金銀鉱鉄を産す其總都を七「キンギ・タイ」と云王の居堂ありて写本并に板本を鬻ぐ事極て多し教あり

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2
ガラス使用

T「コシハチン」の國

又「チュハチン」と名く支那の西にあり其人黒種と黄種とに分る

U「チベット」（タンギュット）

「ネパル」又名「ナポイル」と云ふ地方積（地理家乃法）二万八千「ゼヲガラヒー」里口数一億二百万其南部を「ビュタン」と云而して「チベット」ハ則其北部なり北部ハ亜細亜洲中最上の高山有て四時氷雪尽る事なし是がために其邊夏候至て短くして冬節甚長し千八百十七年八月十四日の「スターツ・コーウラント」奇事を書き集る記録を読むに曰東印度「ペガル」の雪山ハ今日に至て其裸体を見る人なしと又英吉利亜の「カピタン」名官「ウエッブ」と云人近ゴロ此地を通行して其高峯を測量せしに海水を距る事二万八千尺と曰て今按に世界第一の高山と称する「アンデス」又名「ゴルチルレラス」にも是に比すれば早き事七千尺なりし

「産物」　長尾の「ビュッヘル」織毛の毛羊　山羊　熊　獅　穀　葡萄　「ヨートフト」南薬類　大黄　材木　金　鉛　鉄　銅　寳石　塩　染料土　「コルメル」石　石炭

「都府」ハ「ラッサ」「チベット」の総都にして「ダライ・ラマ」の法官長の居処なり「ダライ・ラマ」又時として道會「ピュタラ」に住す

此道會四重の樓有り 其制支へて歐邏巴の風あり又
其室一万有り 九「ヌシヽュドン」「ビュタン」の總都あり
一 V 「ナパ○ウル」（「ナーペル」又名「子ソパル」）
金銀銅鉄木綿材木「ボラソス」牛象犀虎を産し
「國人」「インドスタン」の種あり「ブラミンス」又「ラマ」の宗を
奉す ナソ「アドマンチュ」口数五万 盛都あり 千八百十五年
英吉利亜と和睦し 其南部の諸城地を英吉利亜に
与ふ 此国と「ビュタン」の間に一小國有り「ソッキュム」又「セグイン」と
名づく 其北は「ベンガレン」に接し。

第三十五篇　亜細亜の續説

第十七図に出し

第十　王國「ヤパン」

地「ヤパン」海中に有り 名高らざる國あり 嶋礁沙渚を
集て一國となる 方積（地理家ノ法）八千六百二十五「ゼヲガラヒー」里 口数
一億五百万（餘）越ゆ 嶋中峻高の山有て 其嶺四時雪を
戴く 中に就く「ニッポン」嶋 火山五つ有り 土人最農耕
を勉む 金銀銅錫鉄硫黄「ギヤマン石」磁器の土 材木
「ヲーフト」南菓類 葡萄 木綿 烟艸 穀 米「ララス」
「ペンニップ」「ビュッペル」雉「ハサンテン」蚕 蜂 真珠 鯨を

を産す、
術藝學文ハ他の亞細亞人ニ勝る 綿布毛布 精巧の
磁器 鉄並ニ鋼鉄の諸器 絶品の髹漆工楮紙等の
工業あり國法異邦ヌ通商するをを禁し之を犯す者ハ
處するヌ死刑を以てス故ニ商賈甚タ不盛なり
其島最大ルを「ニホン」又「ニッポン」と名ッく 都なり 十一
「イヽド」と名ッく 戸数七十五万口数百五万餘 帝の居城
周り五里、 土三「ミヤコ」 口数百万
「キウシウ」又名「サイコク」（キシモ） 都なり 十三「ナガサキ」
と云 海港なり「デジマ」島ハ橋を以て「ナガサキ」の府ニ

通ス和蘭人免許を以て交易するの地なり
第十 東印度諸島
東印度諸島 分て十二部とす 一島を以て一部と
するあり 数島を并せて一部とするあり
aa 「ラクエデビ」の 諸島ハ「コヽス」木の林多く 君長有
之を治む
bb 「ハルデビ」の諸島 其島一千二百 地頗る豊厚なり
其君主を「コレエルタン」と云
cc 「セイロン」 英吉利ニ属ス 地方積 ○千七百三十里 ○獨逸國道法
此島砂諸を以て「コロマンデル」の濱ニ接ス

此砂渚を「アダム橋」と名づく　肉桂「ブロードゝフリュクト」
「エッペンホウト」米　砂糖　胡椒「コシテ」「コッヒー」金銀寶石
象　犀　馬　真珠　蚌を産す
「都府」十四「コロモボ」十五「チリンコノマレ」
ll「アンダマン」英吉利亜ニ属す　巨大の造舟業あり
ee「ニコバルト」の諸島　第那瑪尓加ニ属す
lt「シュンダ」の諸島　十六「シュマダラ」地方積八千今
六百二十独逸里　純金　銀　銅　鉄　硝石　塩「コゝス木」
「コッヒー」藍「ブロード・フリュクト」「アナゝス」生姜　米
肉豆蔲　丁子　貴價の木類　諸獣　印度鳥巣　等を

産す　口数四百五十万　分て十七國となす　英吉利亜及
和蘭ニ服属す
廾「ヤハ」地方積二千四百独逸里　口数百万　産物全く
「シユニメテ」ニ同し　其都十六「バターヒヤ」口数十六万　和蘭の
「ゼマラ」大守の居所あり「ヲンリエスト島」属焉　此島
巨大の造舟業あり「マヂュラ島」も是に属す　米至て
豊富なり
卅「ボルネヲ」亜細亜中の巨島　地方積一万四千二百五十
独逸里　口数五百万　産物ハすべて近隣島と同し　其君
主を「スルタン」と称す　和蘭人此地ニ一堡を建て、是に

独逸国道法

独逸国乃法

独逸国道法

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号　寄別14-2
ガラス使用

住居是を「ダヽス堡」と名づく

卌「セレベス」「マカスサル」東濱を「セレベス」と云西濱を「マカスサル」
と云地方積（獨逸国乃法）四千二百七十獨逸里口数三百万産物ハ近
隣島同し

「バルカ」と「チモル」ハ「ホヽレンダ」の諸島ニ属す「チモル」ハ[illegible]
蘇木「ブロイン・ブリユツト」烟草藍蝋真珠金銅を
産す年最豊饒あり

88「モリユツク」又名「スペシリ」諸島ハ「テルナーデ」「チドル」「モテル」
並あり又「ギロい」「セラム」「アムボイナ」並も是ニ属れ此他尚許
多なり枚挙すへき服ひれ此諸島大抵和蘭ニ服従れ

hh「シユルー」又名「ソーロ」嶋其数六十有り以私把尼亜属
「サゴ」胡椒樟脳鳥翼「エルペンベーン」真珠を産す此諸島
「ミユルタン」あり是を治む

ii「ミナダナヲ」地方積（獨逸国道法）二千四百獨逸里米「カツレア」
「サゴ」烟草真珠等を産れ以私把亜の領サイ之有り

kk「ピリツペイン」又名「ミニル島」ハ以私把尼亜ニ属れ
穀米砂糖「コツヒー」烟草木綿「フラス」生姜
胡椒・樟脳・油「サゴ」「カヽナ」「ブロード・フリユムテ」を
住居

ll「カロリネ」又名新「ヒリツペイン」島並ニ「ペレウ」島ハ

以私把尼亜ニ属ス

mm「コリヤチン」又名「ラサリュス」島 又「ラドマヨン」又名
鑑島ハ其数十五以私把尼亜ニ属ス土人海賊ヲ業ス
右の外 nn「セイプリュス」ロ数三万七千ハ欧羅巴ニ属ス
四百七千ハ都児格ニ属ス 00「リコトラ」上好蓋蒼ヲ
産ス pp「バレイン」真珠ヲ産ス 99「ヨルミュス」
「コエイヨ」又名「ウキウ」島 ss「ホルモーサ」北「アンウト」
の諸島 uu「カワラング」又名「ホッセン」島

第五十六 亜米利加

天保七丙申年季冬十七日

小関好義譯

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』 請求記号 寄別14-2
ガラス使用

新撰地誌第二稿

五

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』 請求記号 寄別14-2

ガラス使用

第三十六篇　亜弗利加

第十八圖ニ出ス

〔封域廣袤〕　全地半島ヲ以テ歐地（ヨーロッパ）シュエス

ヲ以テ亜細亜洲ニ接ス北ハ地中海ニ臨ミ東及南ハ

亜剌比亜海又名紅海及印度海ニ浴シ西ハ「アトラント」海

及「エチヲプス」海ニ抵ル其平地ヲ積（地理家道法）五十三万「ゼヲガラヒー」里

〔諸水〕

a「エチヲピ」海　b「グイチヤ」ノ灣　c「カープ」海　尤モ

「タイベル・バーイ」及「ルス・バーイ」　d「コ

「モサムビユイエ」ノ「カナール」

e「ギブラルタル」の「ストラート」 f「バーベル・マンデル」の「ストラート」
g「ナイル」河 又「セネガル」河 及「ガムビヤ」河 左「サイレ」河と
「ヲライ」湖

［山簇］
⊙「アトラス」 ♂「シールラ・レヲナ」又名 獅子山簇
☾ 月山簇 △「アビシニセ・アルペン」
此洲の國都區域繁蕪にして小冊子の得て悉くる所に
あらす爰に其略を挙るのみ詳なる事を知んと欲せバ
地理大全の各部に就て之を會せよ 第一阨入多 第二「ニユビー」
第三「アビシニー」 第四「アルギールス」「チユニス」「チリポリ」「バルカ」
第五「ベス」「マロッコ」 并に其近傍の諸國 第六「サラ」 第七

「セ子ガムビヤ」 第八「ニグリチー」 第九「ギユイ子ヤ」 上ギユイ子ヤ 又名
本國ギユイ子ヤ 第十 下ギユイ子ヤ 又名「コンゴ」の濱 第十一
「カッペルランド」并に喜望峰 第十二「ソハラ」「モノモタパ」「モヌ
ミユギ」 第十三「モサムビクエ」濱「サンクエバル」濱「アヤン」濱「アンデル」濱
第十四 右の外猶未タ知レざる諸地 并に諸島 諸嶋

第一阨入多

都見格領なり 北ハ地中海に臨ミ東ハ紅海に拠り
南「ニユビー」に接し 西「バルカ」及「サラ」に接以地方積 ○地理家乃法
八千八百「ゼヲガラヒー」里 口数三百五十万

［産物］
毎年「ナイル」河水溢レて其地を潤以是がためニ

地極て沃肥なる 米 諸穀 砂糖 蜜蝋 蚕「フラス」
「ゼニナ」「パピール・ストリユイキ」木 紙を造る「ダデーレ」硝石 石炭
「ビュッヘルス」毛羊 駱駝 鶏 諸鳥 中に就く「イビス」鵠を
産じ 雞「ヲーヘン」類 竈の中に在て生る

「國人」 人類数種あり「コプテン」人是ハ古来厄入多の
人種なり「ミメリユッツ」人 亜刺比亜人「ヨーデ」人「ヌーグ」人
欧羅巴人 宗門すべて「マホメット」宗なり 只「コプテン」人ハ
厄勒祭亜宗を守る

「都府」 一「アレキサンデリヤ」口数六千、二「ダミヤテ」
口数四万・三「カイロ」國の總都 口数二十万「パーカ」の居処なり
厄勒祭亜宗の寺二「コローステル」二「ヨーデ」宗の「シナゴーゲ」類寺の
三十六「マホメット」宗の學院一 金銀坐一あり 四「ギルゲ」

第二「ニユビー」

厄入多國の南にあり 諸穀 米 砂糖 及 葡萄「センナ」
「フラス」金銀 塩 牛馬 駱駝 毛羊 獅 虎を産じ 其北部
ハ名 都名格「ニユビー」并に名「アベキス」濱あり 其都ハ
五「ドンゴラ」六「センナール」

第三「アビッシニー」又名「ハーベス」

「ニユビー」の南にあり 牛馬 毛羊 駱駝 象 鹿 狐 兎「ゲメーセン」

「ゼーブラーセム」魚名 獅「ヘイナス」駝羊等ヲ産ス此他産物「ニビー」ニ同ジ

【都府】七「ゴゾル」ロ数一万五千ノ居民アリ

第四 「アルギールス」「チュニス」「チリポリ」「バルカ」地中海ノ北ニアリ米諸穀「ダーデレン」「ヨレイフ」「セニナ」無花菓葡萄砂糖雞腹蘭駿馬毛羊驢「ドロメダリセ」獅虎猿駝鳥鉄鉛銅塩硝石ヲ産ス

b「アルギールス」其総都市ヲ「アルギールス」ト云ヒ戸数一万五千頗富有ノ都ナリ「バッカホイス」燒ク処ノ羅馬宗ノ寺一吉利私天宗ノ小病院一アリ

c「チュニス」其都ハ昔ノ「カルタゴ」ト云ヒ戸数一万五千ノ居民ナリ

d「テリポリ」

e「バルカ」地 瘴漠多ク居民少シ

半ハ「チリポリ」ニ属シ「アルギールス」ト「チュニス」トノ南ニ全国半ハ「チリポリ」ニ属シ「アルギールス」ト「チュニス」ノ南ニ全国砂地ノ処アリ

「ビレヂエル・ゲリッド」ト云半ハ「チュニス」ト「チリポリ」ニ属シ半ハ「コロッコ」ニ属シ

第五「ヘス」「コロッコ」ノ二国

「ヘス」其都亦土「ヘス」ト云ヒ戸数三万旅家二百前條ニ挙ル諸地ノ西ニアリ帝アリ昼ヲ治ム其領ノ所ノ回ハ王国「ヘス」ト云ヒ其都亦土「ヘス」ト云ヒ戸数三万旅家二百大市場一「コモスケーン」寺ノ数五百大学校一各堂一亜弗利加洲中

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2
ガラス使用

第一の大學堂あり 十三「メキニス」帝都あり口数十万
十四「ザーレ」口数六千 都城又港あり 一王国「マロッコ」
及王國「フェス」一「ランドシカップ・ダラ」及「タヒレット」其都を
十五「マロッコ」と云ふ口数二万 獅坑あり国人時有て人を其中に
投じ中に就く「ヨーデン」宗の信之を多ん 十六「タヒレット」の口数
千五百

第十二「サラ」

一国皆砂地にして極熱 前條諸國の南にあり東より
西に延る事 六百里 金「ゴム」石塩 毛羊 野羊 駱駝 駝鳥
獅猫 猿を産じ 人物大抵「ベルベリ」人種なり「モール」人も亦之あり

港あり 十七「ボルテンヂク」と名づく 拂郎察國に屬じ

第十三「セネガムビヤ」

「アトランド」海邊「サラ」の南にあり 地至て豊冨 米 烟草「マイス」
胡椒 栗「ベニップ」 木綿 藍「アナス」「ワーテルメローネ」
枸櫞 蜜 蠟 巴旦杏 「アーペンブロード、フリユリテン」「エッペン」木
「ゴム」「カッシヤ」 乳香 金 龍涎香 塩 獅虎 象 猫 鰐
猿 馬 牛 毛羊 駱駝 蛇 鸚鵡 駝鳥を産じ
「國人」専ら耕作と商賈とを勉む 其最大の國（ランドシャッペン）は
「ホリーン」其都は十八「チユムボ」口数七千 「ヤローヘン」其都は十九「カーラ」
波尓都尾尓の領なり

第八「ニグリチー」
「セネガムビヤ」の東ニ當リ「ニゲル」河ニ近ニ因テ此名アリ當今
「ギユイン」又「アゾード」又ヨリバ」と云ヒ分テ数小國トス
其最大のものハ「トムビュクト」其都ハ二十「トムビュット」「ロウイーロ」
其都ハ二十「カルヲー」此地「ボーテル・ボーム」ヲ生ス
生ル其幹徑二十五尺ニ至るものアリ

第三十七篇　亜弗利加の續説

第十八圖ニ出ル
「グイネヤ」分テ二國トス上「グイネヤ」又名本「グイネヤ」
下「グイネヤ」又名「コンゴ」是ナリ

「ヤニス」木綿米諸穀栗「マイス」砂糖「メデーン」諸種の鑛
を産ス

第九　本「グイネヤ」又名上「グイネヤ」ハ「エチラプ」海ニ沿フ
長夜の地ニ分テ数個の海濱トス
「ラグエッテ」又名「ニラグエッテ」又名
「ペパー・ヘル・キュスト」ロ「メンド・キュスト」又名「エルペンペーン・キュスト」P「ゴルド
キュスト」ロ「スラーベン・キュスト」是ナリ
「都府」ニ「アボメイ」ロ数二万四千、二十三「カルミナ」ロ数
一万五千、二十四「ベニン」
此地歐羅巴の所領多シ「ポルトガル」和蘭の城地十一所
二十五「シエラ・ゲヲルゲ」、「デルラ・ミナ」最大ナリ

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』 請求記号 寄別14-2
ガラス使用

拂郎察領ハ「フランコイス」あり
第那瑪尓加領ハ「キリレスターンビュルグ」「フレデレッキ・ビュルグ」あり
英吉利亜ハ「フレイ・子ーゲルス」の新植民并ニ城地商地数所を領ス其都ハ二十六「カープ・コルソ」あり

第十ノ下「グイネヤ」又名「コンゴ」

「ロアンゴ」「カコンゴ」「コンゴ」「アンゴラ」「ベンゲエラ」「マタムバ」の如く諸地ニ分る

【國人】大抵「子ーゲル」人種なり「コンゴ」人ハ羅瑪宗を奉ス
「コアンゴ」ハ黒種の「ヨーデン」人と白種の「子ーゲ」人なり
「ヤッガス」人ハ即ち「子ーゲ」人種なり但驍勇なり而已麁暴なり
「マタムバ」ニ住ス又「コンゴ」ニも少く住す

【都府】二十七「ロアンゴ」二十八「キンゲラ」二十九「シント・サルハデル」三十「シント・パウル・デ・ロアンド」口数一万八千・三十一「シント・ヒリッピ」三十二「シント・マリヤ・デ・モタムバ」

第十一「カッヘルランド」此地崎嶇なり「カッヘル」とハ[illegible]「ヨンゲロー・ヒゲ」邪宗信るの義にて「マホメット」宗を奉し真教ニ入らさる國民の通称なり「カッヘル」人の外ニ「ホッテントッテ」人「ボッシェース・マンネン」も住ス
氣候北部ハ大熱南部ハ平和なり此地總て暴風多し

諸穀「ヲーフト」葡萄蔬蜜及蝋を産し其中地ハ象、犀、「ギラッヘ」野驢野馬「クーヅース」「ビュッヘルス」獅豹並ニ其他の亜弗利加獣あり
崎の中一帯の地當今英吉利亜領となる其都を「カープ・スタット」と云ふ戸数千二百 獨逸人和蘭人英吉利人押爾察人支那人雑居し 机山獅山鬼山等の高山及「ダーヘル・バーイ」「パルス・バーイ」あり
第十二「ソハラ」「モノモタパ」「モスミュギ」 諸穀木綿「ヲーフト」砂糖至て多く又金銀獅象鰐を産し此地未審の処多し 故ニ唯「ソハラ」と「モノモダパ」の二地を説くのミ 十「ソハラ」其都亦三十七「ソハラ」と云ふ
S「モノモタパ」其都を三十五「センナ」と云ふ 七「モスミュギ」ハ格別の都なし
第十三「モサムビクエ」「サングエバル」「アヤン」「アンデル」諸海濱ハ「クヮミ河」口より「バベル・ミンデル・ストラート」ニ至る 牛毛羊米蘆薈蜜無花菓枸櫞「バルムボーム」「エッベンホウト」金銀を産し
U「モサムビクエ」其都ハ三十六「モサムビクエ」三十七「モンガレ」あり
V「サングエバル」其都ハ三十八「メリンデ」三十九「モムバサ」四十「マガドクソ」あり

W「アヤン」X「アンデル」ハ砂地大熱國ナリ
第十四 上 エチヲペン」ハ世ニ未知ノ地ヲ称シ
古ヨリ洪水ヲ聞クノミ又諸獣甚タ繁息シ此地ニ毎年
僕僮ヲ喪フ事十萬人ヲ以テ計フ今ニ至ルマデ二百年来
然リ是ニ因テ考フレハ亜弗利加ノ中地汗漠不毛ヲ云フ
全ク信セス
「諸島」ハ「アドミラテン島」ヲ
治ムル土人ハ亜剌比亜人種及「ヨーゲ人種」ニシテ「マホメット教」ヲ
奉ス ○「マダカスカル」島ハ亜弗利加諸島ノ中最大ナリ
地方積一万里君長数所有リ之ヲ治ムル土人「ヨーゲ人」「モール人」
ト相半ス蛮蝠木綿藍胡椒鑛類寶石及自餘ノ産物
極テ多シ ○「マスカレニ」ノ諸島
烟草ヲ産ス ○「ニシト・ヘレナ嶋」英吉利亜ノ東印度商
府ノ領ナリ近ク欧羅巴諸國ノ會議ニ因テ「ナポレヨン」
ホナパルテ」ヲ流竄セシ地ナリ ○「アッセンション」無人島ナリ
○「グイ子」ノ諸島スルヨリ「アナボア」及「ベルナンド」ハ以私加
尼亜ニ属ス「ニシト・トーマス」ハ波尓杜尾尓ニ属ス
「アルグイン」ハ「ビュラム」英吉利亜ノ新植民地ナリ
「ゴルゴ」摂政察ニ属ス「ブルーネ・キールゲベルグテ」
ノ諸島又名「サープ・ヘルゴラント」ハ波尓杜尾尓ニ
属ス海塩野羊皮木綿甘蔗「メイネ・フリュクテン」

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2
ガラス使用

亀モ産ス又「ミデラ」及「ボルト・サンド」波尓杜厓尓の属島

特ニ「ミデラ」ハ上好葡萄蜜蝋砂糖「ゴム」モ産ス

ソ「カナリ」諸島 以私把尼亜ニ属ス橙 上好葡萄 砂糖

蜜蝋獣皮麦等モ産ス 名「アソリ」の諸島

波尓杜厓尓ニ属ス

[崎] 「*カンチン」崎** 「ブランカ」崎*** 「ベルド」崎 十「パルマス」崎

卅 三隅崎 卅「子グロ」崎 卅 喜望峰 十「コレンテス」崎 卅

「デル・ガド」崎 卅 「デル・ヒュイ」崎

第三十八篇 亜墨利加

第十九国ニ出ス

「千四百九十二年「コロムビュス」ト云者始テ爰ニ航シ見出

セシモノナリ 自然の地形ニ随テ是モ三部ニ分ツ

A 北亜墨利加

B 南亜墨利加

C 西印度並ニ自余の諸島

[封域廣袤] 北氷海ニ臨ミ東「アトラント」海ニ接シ西

南洋ニ抵ル 其平地方積 二千万里余 口数 三億

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2

ガラス使用

〔諸水〕 a「バッフィンス・バーイ」 b「ヒュットソンス・バーイ」「ヤーメス・バーイ」 c「コレント・ロ°ウレンス」の湾 e「メキシコ」の湾
メ「ハナミ」の湾 名「ストララート・ダビッ」 d「ヒュットソンス・ストララート」 f「ベーリング・ストラート」 k「カナーダ」の五湖 及
「スラーヘン」湖 h「コレント・ロ°ウレンス河 l「ミッシッピ河 及其支流
「ヲヒヲ河「ミッサウリス河 m「アマソーメン河 世界第一の大河なり
長ミ千里 水源る所ハ廣ミ三十里より四十八里ニ至る 其海ニ入て
洽水となる事 十八里ト間るなり o「ラプラタ」 p「ヲレノクエ」
q「コレエリナメ河「ヨーヒンシ河「コーペルメイン河

〔山簇〕 「アパラギ」の山簇此他ハすべて総括ミ篇ニ説りきを以て復贅せん

A 北亜墨利加

分て九部とし第一右「メキシコ」又新以私把尼亜と云 第二新「メキシコ」此地「アルビヨン」と「カリホルニア」を総呼 第三「ロ°ウイシアナ」 第四「フロリダ」 第五「ブルエトニグブ・スターテン」の集治諸洛 第六新「スコット・ランド」 第七「子°ウホ°ウンド・ランド」新見出地 第八「カチーダ」 第九「ラブラドル」又新「ブレタグ子」と云 是ハ新ワレス」せ総呼而して「グルーンランド」賊国ハ其東北ニ有り

第一古「メキシコ」又新以私把尼亜八州の東南「ハナミ」の夾地ニ接シ諸穀米上品の「マイス」蒲萄蜜「ゴムコパル」「コパルセム」「カムペケ・ホウト」「コセニル」「カ、ヲ」烟草生薑木綿藍塩金銀真珠「スニラグテン」水銀等を産し此地以私把尼亜王の領ニ属し但し6半島「エ・ウカタン」の東海濱獨り属せし

「都府」一「メキシコ」西王の居処北亜墨利加中最美都口数二十万の内[illegible]王家の金銀坐あり又寺及教校数所あり此地銀至て多し以て乗車の輪を作るに至る二「アカピュル」此府ハ千七百九年大地震のために荒廃に三「グアナコ」大學校あり又大商賈あり四「ペラクリュス」「モミケシコロースチル」類寺の三所あり五「タテスカラ」一大富都六「グワダラクサラ」口数三萬皆土人ニて印度人雑り大学校あり七「アリダ」八「カムペケ」

第二新「メキシコ」「アルビヲン」と「カリホルニー」を總ふ古「メキシコ」の北にあり金銀「スニラグテン」葡萄を産し又農耕畜獣林野あり亜墨利亜産の菓実類野獣家畜亀蛇等を産し且「カリホルニー」亀及蛇を産し其北ハ新「アルビヲン」あり

第三「ロウイシアナ」往古以私把尼亜領後払郎察領となる

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2
ガラス使用

其後千八百三年を以て合衆國より一億四百万「ピアステルス」の金貨を出して此地を「フルエーニグデ・スターテン」の内に列入れ此地の中央ハ北亜墨加中第一の沃土其都ハ土新「ヲルレアニス」ろり第四「フロリダ」今ッて二部となに東「フロリダ」西「フロリダ」ろり諸穀米藍「サッサフラス」「ニホヲイ・ホ。ウト」葡萄木綿「カヲヲ」「コセニル」等を産し其都ハ土「ニシトン」ア。ウギュスチン」總都ろり口数二千・ナニ「ペンサコラ」第五「フルエーニグデ・スターテン」北新スコットランド」及「カナーダ」と疆を接し西「ロ。ウイシアナ」に接し南「フロリアダ」に接し東「アトランド海に極る地方績六万二千皇家畜及野禽獣

「ベルテレイン」熊龜魚類諸穀「ヘニップ」「フラス」烟草「コイス」茜草「サッサフラス」「イペカコアナ」砂糖ゐ鉄鉱銅塩ゐを産す南地ハ米藍蜜蝋を生ず

口数近今計る所に依るに一億四百二十四万と云国十七州（プロビンシン）二分ツ新ハムプスヒ」「マッサキュッセッツ」島ハ「コイチ国と「サガダホド」國を總ぶ「ロヂス島」「コネクチキュット」新「フルシト」新イ、ルセイ」「ペンセイルハニー」「デラワー」「メイレランド」「ヒルギニー」「ケチケット」北カロリナ」南カロリナ」「ゲヲルギー」

「ヲヒヲ」昱り

「都府」 十四「コルド」 十五「ボルツ・モ。ウト」 右二府皆幼院
アり 十六「ボストン」 一大都 十七「カムブリッゼ」 大学校アり
十八「プロビデンス」 十九「ハルト・ホルト」 二十 新ヨリ」 殷盛の都
口数三万二千 學院教師アり 二十一「十スヒル」 二十二「ベニングトン」
二十三「ペルトアムボイ」 二十四「ヒラデルもや」 「デラワレ」汚邊ニアり口數
十万 寺及官府数十所 大學校一共學教師昏堂一
機巧及珍奇産物の寶庫一解剖室一アり 二十五「子。ウカスト」
二十六「ワスヒングトン」州の總都ニて會集の地ニアり 二十七「リもシド」
二十八「ルホルク」 二十九「レキシングトン」 三十「コロムビヤ」
三十一「カレイグ」 三十二「コロムビヤ」
三十三「カレスト。ウ」 千七百九十六年ニ計る所口数十二万二千

三十三「サンセ」
第六 新スコットランド」 右名「アカデー」 地方績。千八百
「セラブガラヒー」里 「カープ・ブレトン」島及「シトー・ヨン」島屬焉 畜獣
漁獵を以て專業とし又林野アり大ニ利潤をる 英吉
利亜ニ屬し其都ハ三十四「ハリクス」 三十五「サルビュルク」
第七 「子。ウ。ホウンド・ランド」 酷寒ノ木毛 英吉利亜ニ屬ス
第八 「カナーダ」 地方績。三万五千 「セラブガラヒー」里 材木「マイス」
諸穀蔬を産ス其南地ハ葡萄 魚「ペレテイン」 鉄ヲ産ス
此國の一地「ケベック」の「コ。ウベル・子ーメント」 奉行
地 千七百九十一年ヲ

地理家道法
地理家道法

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2
ガラス使用

を以て分て上下「カナーダ」の二部と為し各自ニ議府を立て、是を治む 英吉利亜ニ属ⅰ右の外獨立「カナーダ」ハ印度種の蛮民住メリ 英吉利亜領の「カナーダ」の總都ハ三十二「ケエベツキ」なり

第九「ラブラドル」又新「ブレタグ子」是ハ新「ワレス」と總称

此地及「ヒユトソンス・ガイ」の邊ニ在る諸島ニ及「府麻スト」

「ラブラドル石鑛類「ヒルテレイン」を産ⅰ

「グルーンランド」西「ダビツ・ストラート」ニ據る其東と北ハ未審なり

氣候極寒ニ不毛なり只其南地夏月微く温なるを以て僅ニ養生の植物を生するのミ 熊 鯨 大口魚 鮭 海狗 海牛 馴鹿「ベーヘルス」白熊 狐 犬 諸種の陸鳥并ニ海鳥

「ラブラルド石」なるを産ⅰ 其人大抵第耶瑪尔加人種なり 其本国「エスキモウ」ウキス人も少く是何レも蓋其狩獵を業とせり 又蠢愚なりⅰ 其西海濱ハ第耶瑪尔加人多新植民を開く事十三所

「又ゴ三の「ハンデル・亜尔摘西」ニ總督宮府を建て是を治む 又教師を三所ニ置れ是を教導して其宗教に帰せしむ

第三十九篇 亜墨利加の續説

第十九図ニ出ⅰ

B 南亜墨利加

六州ニ分リ第一下王國新ガラナーダ」第二下王國「ペーリュ」第三下王國「リヲ、ラ、プラタ」第四「パタゴニー」又名「ニゲルラー」の區、第五「ブラシリー」并六「ギユイアナ」ト昱ル

第一下王國新「ガラナーダ」北「カライビ」海ニ根ル東和蘭領拂郎察領英吉利亜領ノ「ギユイアナ」及「アトラント」海ニ根リ南「ブラシリー」及「ペーリュ」ト疆ヲ接シ西大南洋ニ根ル此國C「テルラ・ヒルマ」d以私把尼亜領ノ「ギユイアナ」e「クイト」州（プロビンス）ヲ總ル

【地性氣候】地林野多ク只海濱ハ旱湿ヲ破ル「ニムデラソ」山ハ「クイト」ノ地ヲ行リ此地氣候極熱アリ只陸風及海風ノ為ニ其熱サヲ和緩ス

【産物】「ニイス」米「カヲ」「アナス」薑蕃　烟草　砂糖　木綿「サッサフラス」牛毛羊鹿猿「メールカット」ノ類　諸鳥諸魚

金銀「マルガ石」「スミラグデ」真珠等

【都府】一「ポルト・ベロ」二「パナマ」昱ル及「ペーリュ」より出る貨物ヲ商賈スル所ナリ　三「カルタゲナ」口數二万五千、四「ポパイアン」口數三万、五「サンタヘ」國ノ總都ニシテ王ノ居ヲ置ケリ大學二所アリ

七「クイト」繁華ノ都　大商賈并ニ諸般ノ工業有リ

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2
ガラス使用

口数二万 大学校二 [illegible]場 数所アリ
第二 下王国「ペーリュ」大寧海又名大南洋ニ沿ふり
「[illegible]ケナ」金銀銅鉄水銀錫「ブリッキ」塩 礬石硝石
硫黄 磁石「スミラグヂン」「アニチステン」「マルメル石「コイス」茶
諸穀 木綿 砂糖「[illegible]」諸種の草「バルセム」「エラスチケ
ゴム」「ヒュルベル・モッセン」牛車「モイル・ゲーン」馬 毛羊ヲ産ス
本土人のミ相聚て都會ヲ[illegible]他邦ニ属せざるタメリ
[都府] ハリヒ 国の總都 口数五万 諸般の工業 商賈
アリ 大學校一 共学四十餘アリ 九「トリユキシルロ」十
「アレクイパ」口数四万、土「キュスコロ」口数二万 六千
十一「シント・ヤゴ、デ・シリ」口数[illegible]万 六千・十三「ラ・コンセプチョン」

十四「ルー」諸島
第三 下王国「リヲ・デ・ラ・プラタ」南「コルゲルラーン」
の國ニ接ス 西「ペーリュ」と疆ヲ「南東「プラシリ」の接ス
「ライス」落花薯 砂糖 諸種の南菓葡萄 蜜猟 大黄
「バルセム」「コッセニル」脂 烟草 木綿 牛羊 馬騾「ゼリーン」
ガラス」等ヲ産ス
[都府] 十五「シント・クリュス・デ・ラ・シーエラ」十六「ポトシ」
口数二万五千 銀坑アリ 往昔巨数の銀ヲ産せり 十七
「コルトバ・デ・タキミ」十八「アッシュムプチョン」十九「シント・ヘ」
二十 モンテ・ビデヲ」二十一「ビュエノス・アイロス」總都ヲ[illegible]テ

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2
ガラス使用

国王の居処なり口数四万 大學校あり
本土人の種類相集て都會をなすもの多く之あり

第四「パタゴニー」又名「マゲルラーン」の国 以私把尼亞に属す
高山多く雪を戴き氣候極冷沙漠不毛の地多し 又
薪水乏し 但馬多し 又駝鳥 蝋 蜜 木綿を産す

第五「ブラシリ」 北「ギュイアナ」及新「ガラナーダ」に接し
東と南 王國「ガラナーダ」「ペーリュ」「リヲ・デ・ラ・フラタ」
等と疆を接し 東「アトラント」海に枕す

【地性氣候】 北地ハ暑く雨多し 南地ハ平和良順なり
地多くハ豊厚なり

【国人】 口数二百二十万 其中六分一ハ波尔杜尾尓人なり
其本土人或ハ波尔杜尾尓人に雑て或ハ「子ーゲル」人に雑る
或ハ他種に雑ることなくして一國をなすもの亦之あり 千八百
五十五年以来 多く住する所の印度人新植民と共に免許
を得て此地を安堵することを得たり

【産物】 「コイス」穀 「コッヒー」 「ワーテル・メルーヲン」「ヤニス」
「アナヽス」枸櫞 「カヽヲ」 木綿 藍 「コセニル」 胡椒 烟草
「ブラシリー・ホウト」「イペカコアナ」「ヤラッパ」「コリブリス」
「ツーカンス」 鑛類 寶石 等を産す

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』 請求記号 寄別14-2
ガラス使用

〔區別〕分て九「ゴ°ウフル°子ーメンテン」地奉行を為ル「パーラ」「ミラシハヲ」・「ヘルナンボコ」「バヒヤ」「リヲ・ヤ子イロ」「シレント・パ°ウロ」・「ボルト・ゴロッソ」「ミナス・ゲラース」「ゴエイアス」是なり
此中ち卒りの三國ハ金及寶石を産する事最多し
〔都府〕 二十二「パラ」又名「ベレム」良港有り 二十三「ミラナラ」又名「シント・ロ°ウイス・デ・ミラナヲ」 二十四「ヲリンデ」又名「ヘルナムボコ」口數一万二千・ 二十五「シント・サルハドル」口數二万・ 二十六「シント・セバスチアーン」又名「リヲ・デ・ヤ子イロ」「ブラジリ」全國の總都にて皇帝の居処又波尔杜尾尓商賈輻湊の地口數三万、 二十七「シント・パ°ウロ」

二十八「ヒルラ・ベルラ」 二十九「ヒルラ・リッカ」又名「ミリアナ」 三十「ヒルラ・ボア」
第十六「ギユイアナ」 此國の中ち以私把尼亜領ハ王國新「ガラナーダ」の内に有り 波尔杜尾尓領ハ「ブラジル」の内に有り 右の外ニ和蘭領の「ギユイアナ」及英吉利亜領の「ギユイアナ」又払郎察領の「ギユイアナ」有り 千八百十三年及千八百十四年の會の後和蘭ハ「ユリナメ」を領し 英吉利亜ハ新植民「エッセクエボ」「デメラリ」「ベルビセ」を領する事を定む

C 西印度並ニ其諸島

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』 請求記号 寄別14-2
ガラス使用

ii「アンチルリ」の諸大島
砂糖木綿生姜「カッシヤ」「コッヒー」「カッサヘ」「ホニー・ホウント」乳香 薑 蕃 金 銀 銅 瞞 敷皮 産ル
其都ハ三十三「ハハナ」口数二万五千
「サニイカ」砂糖木綿「コヒー」木 檜「バルム木「コース木
「サルサパリルラ」「カッサビ」「ホニー」産ル其都ハ三十三「ハハナ」口数二万五千
「ブロード・フリュクテン」肉桂等ヲ産ル其都ハ三十三「ハハナ」口数二万五千
カリ

「イスパニラ」又名「シント・ドミンゴ」獨立シテ他邦ノ命ヲ兼ケ下王二人ヲ立テ之ヲ治ム是ヲ「ハイチ」
と云 砂糖 藍「コッヒー」木綿「カンヂ」等ヲ産ル其都ハ三十五「シント、ドミンゴ」ヨリ
「ポルト・リッコ」以私把尼亜ニ属ス
K「カライビ」の諸島
「ヘイリゲ・ニーグド」の諸島 其数 三十「シント・トマス」最大ヨリ「シント・エ・スタキ・ウス」三十六「シント・ミルチン」
和蘭ニ属ス「アングイルラ」「シント・バルテレミ」「シント・キリストッヘル」「アンチゴア」「ギュアデロ・ウペ」「ドミニカ」「セルチニア」
「シント・リユキヤ」「タバゴ」「シント・ヒンセント」「バルバドス」
「グレナーダ」「グレナービルレン」
J「アンチルリ」の諸小島

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2
ガラス使用

「ラ・チリニダル」 三十七 「キュラッソウ」 和蘭
ニ属ニ
m 「リュカイ」の諸島 塩及「ブラシレリ木」ヨホニー木ヲ産ス
其中最名アルハ「リュカイヤ」及「シント・サルバドル」アリ
「シント・サルバドル」ハ「コロムボス」ガ始テ踏ミ到リシ地ト
見出セラル地アリ
n 「ベルミュド」の諸島「ヘンプ」「アラス」烟草 棉 豆ヲ作リ
多ク産ニ土人 漁ヲ以テ専業トシ
P 「ビュールランド」「ニゲラーン」の「ストラート」ヲ以テ「パタゴニー」
ト隔ル大小数島ヲナス蛟 南ノ尖端ヲ「カープ・ホールン」
ト云其北邊高山アリ皆 禿元不毛ノ雪アリ其谷間夏ト雖モ
雪アリ東邊平和且ツ林野多シ此地一種ノ居民
アリ其信甚タ和睦シ口数僅ニ二千
T 「ハルクス・ランド」諸島 「ゼーガンセン」
イシス鳥ヲ産ス 鯨「ロップ」「ピンバ」
S 新「ゲヲルギー」又名南「ゲヲルギー」此地毎歳
氷雪土ヲ覆フ事夏月中ニ至ルモ不毛草木アリ
只二種ノ植物ヲ生ズルノミ
m 「ガルラペス」
*「ブレトン崎」**「デルド・ノルド崎」
**「ホールン崎」
***

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2
ガラス使用

＊＊＊＊「コリーンテ」崎

第四十篇　「アロウス・タラリー」

第二十圖ニ出ル

其國北極出地三十度より南極出地五十度に到り東西經百二十度より二百五十度に到る全國數多の島なり故に是を「ポリニシー」と名く和蘭に翻すれは「エイランデン・ウエールド」島世の義なり地方積○地理家ノ法十八万せし里口數二百万此地尚未審の所あり故に只其大略を記す產物「不甚多」鑛類只鉄と銅との徵を見るのみ歐羅巴の動植を移し養ふに皆よく

繁息す地二至規の間に在り其氣候大抵なる處を答なり然れ平和清淨にして良順なり誠に奇とすへき處し

A 新和蘭 最大島にて「モリユツク」の諸島の近所に在り地方積十二万二千里其北西南三邊ハ印度海に臨み東は大平海に據る灣及「バーイ」甚多し其いちる「カルペンタリー」の灣 b「ボウルボン」の灣 c「スペンセル」の灣又「ボタニーバーイ」 d「ブロッケンバーイ」あり河の最大なる者は「ハウケスビユリ」河是なり長十里大船を以て航す處し「ブロッケンバーイ」に入る又此河「ゴロベ」河を會して南行する處を「子ペアン」河と名つく此河に次て大なるものは

「ゲヲルゲ河あり「ボタニーバーイ」に入る すへく此島極廣
其中土人跡過せさる所居多只海ニ沿ふる处纔の
地總りに之を探るのミ中土山岳無数 千八百十三年
「ブラー、マウンテン」青山の一路を開き
州の一方より一方ゟ通する事を得たり。其間六ヶ月を経ると云 盖此山南北
ニ亘る 其西ハ則ち英吉利亜の新植民あり 又「モウント・
エイロリス」と云山あり此麓ニ肥沃の平地あり 是ニ二池あり
其より流るる水相合して「コックス河」となり「子ペアン河」ニ入る
「コックス河」を過れハ一行の高山あり 是を越ハ「ビスリヒール」
ニ到る 是ニ到て地形極て美なり 数多の山陵の間

肥沃の平地錯雑し 一河流れ来る 是を「マツクワリー」河と
名づく 此河邊ニ一新都を建るの議あり 預め「バヂル
スト」と名づく 此地南極出地三十三度二十四分三十秒
「グレーンウイク」の東。経度百四十九度三十七分四十五秒「コレドス」
を去る事三十里ニあり 此地を経歴せし人の話を安くに
絶て人物をみんじ 但「カングールース」 新和蘭の「カシュア
リュス」「ホーゲルベッキチール」 玳瑁 黒鵝 銅色の鴿をみると云

【産物】 「カングールース」 狗「スチンキデーレン」「エーキホールンス」
先ニ其廻なるもの 野猫 狼 蝙蝠「ホーゲルベッキ・ヂーレン」
諸種の鳥即「ペリカーネ」 鵡「タラップガンセ」 鵝 黒鵝 雁

雁鳧鷺鷹鳥鳩鸚鵡 魚類鯨蟹真珠母海狗
「カヤプチー」「ダラーケンブルード木」「コス木」「ペイン木」「パルメン」
「パルム・コール」無花葉「ヤムス」等
此國海濱すてん開る所の地ハ a「カルペンタリヤ」
b「ジーメンス・キュスト」 c「ウイッテランド」 d「エーンダラクツ・ランド」
e「エーデルス・ランド」 f「ハン・レー・ウエンスランド」 g「ペーテル、
ニュイツ・ランド」 h「ハン・チーメンス・ランド」及「ヨースト・キュスト」
ⅲ 新「ソイド・ワレス」新ソイド・ワレス」の内ニ英吉利亜
の新植国を「ガラーフ・シカップ・キュベルランド」と名つく是ニ
属するハ l「シドナイ」總都なり口数二千六百
r「パラマッタ」「シドナイ」を距る事三里口数千五百

近来の説ニ此地の總新植民凡二万千六百人有と
云又角獣一万馬千毛羊四万豕二万五千有りと云
其西邊の人ハ色黒き事亜墨利加の「ネゲル」人の
如し其髪拳ニ且ツ毛の如し家什を貯る事すくく
其住屋鄙にして賤し又禮儀及飾るに能く和睦に
其東邊の人身を塗る事「ネーゲル」人の如し[illegible]
髪拳の如し
食物ハ魚貝「ヤムス」根なり此土人すてに彫像の術を
發明せり
「ハン・チーメンス・ランド」嶋ハ「バッセス・ストラート」を以て

新和蘭と隔る

B 新「ボジュイネヤ」新和蘭の北にあり「コス・ノーテン」「ブロード・フリユクテン」「プランターヲン」「ベーテル」豕雞鳥類魚類を産ス 其人強健 色淘黒 髪拳縮れ毛多く多くん驍勇戦を好む歐羅巴人嫌て至るを到るとき大に拒み闘ひしと云

C 新「ブリタニー」新「イルランド」新「ハノーヘル」是ハ新「グネヤ」の北にあり「コス・ノーテン」肉豆蔻生姜「ベーテル」竹蘆薈野鴿鸚鵡諸鳥諸魚を産ス 其人網を造る極て巧緻なり

D 新「カレドニー」新和蘭の東にあり 大率山陵不毛にして平野少し 其人蓬鬆性害誠に信篤体膚褐色髪鬚黒くして毛多く拳縮なり 言語ハ他島の人と大に異なり

E 新「ゼーランド」新「カレドニー」の南にあり 二島を總ぶ

【氣候】温和にして冬時 英吉利亜國より堪やすし 山岳四時雪を戴く

【産物】狗鼠の外絶へて獣類なし 土人狗を以て食料とす 蛇 守宮 野鴿 梟 鸚鵡 海鳥

水雞「ピングインス」鷹鷲ヲ産ス其海ハ「ゼーカルヘレン」海獅鯨蝦魚蛤蠣ヲ出ス木ハ巨室大舶ヲ造ルヘキ大木ヲ生ス又諸般ノ植物鑢類ヲ出ス

人物黄褐色ニシテ髮黒ク眶細クシテ鼻曲ス倍盧ヲ刻ミ且ツ之ヲ塗ル口数十万其常食ハ魚肉ト狗肉トナリ

F 新「ヘブレデス」獣類至テ乏シ只植物ハ多シ

人物大ニ「ヨーゲルン」ニ類ス専ラ耕作ヲ勉ム

G 「フリーンド・シカプス・エイラエンデン」の義 親睦島

新「ヘブレデス」ノ東ニ在リ豕雞野鴿等ヲ産ス千七百七十七年以来牛馬アリ

其人。膚肌。瑠璃褐色性柔和ニシテ親睦礼貌アリ聡明ヲ好ム事精勤ス但其住屋極テ常アリ婦人ハ藺席、櫛、魚鈎「ヘンゲル・スヌーレン」ヲ具魚ヲ捕ル網、綱、骨針、諸種ノ細籠、蘆又藺ノ水籠、臂帯、羽ノ飾肚、羽帽ヲ造ル男子ハ農耕、造家、綿布、漁、航海、「カラヘイペンルーレン」笛、軍器「コノッセン」「スピーセン」弓矢ヲ造ルヲ以テ業トス又最音楽ヲ好ム又僧徒ヲ立テ祈禱ニ捧奉ス人霊不死ノ説ヲ信ス

H「ソキーテイ小」の諸島 「フリーンドレカップス」島の

東に有り 甘蔗「ブロード・フリユクテ」無花菓「ピッサング」

「コヽス・ノーテ」豕 狗 諸鳥 牛馬 毛羊 野羊 孔雀

吐綬雞 雁 鳧 海魚 蛤蠣 真珠を産し

此島の中ち「ヲ・タイテ」最大なり 而して人戸多く二部に分る

大「タイテ」小「タイテ」なり 各王有りて之を治む

他島に比すれば人物最も禮儀有り 皮膚潔白にて黄褐色

を帯ぶ 清浄を好む 其膚を刺む 木皮を以て諸種の布

及籠 漁具を造る 又石或は骨を削て兵器となし 二島

各種の宗門有り 僧徒を立つ 然に罪人を用て牲となし

兵は只舟軍を用ゐ陸上の戦なし

I「サンド・ウイックス・エイランデン」「ソキーテイ」小島の北に

あり 内「ヲワイヒ」最大なり 口数十萬「コーク」と云もの

千七百七十九年この此地に没し

【氣候】 南北緯度の度数を以て南亜米利加地方に比

度数を同ふす処なれども此地の氣候温和にして地性頗る良しとす

「プラント・スーテン」なるものあり

「プラント・スーテン」ハ樹木の枝を切て土中に挿し木を殖するを云ふ

【産物】「ブロード・フリユクテ」「ヤムス」丁子「ピッサング」甘蔗

蕃薯「ホムプーテン」豕 狗 鼠 鳧 雞 其他許多の美鳥

魚類「ニクレーン」蟹 亀 など

【土人】形容貌至て美なり但膚黒色にして「ヲーゲン」人の如し性発明を好み事業に専心にし又意氣壮大なり

口数四十万農耕鳥猟並に漁又手工を以て業とし又塩製と銅板工に名有り其民三等に分る貴賓主人臣僕是なり總王二人有り一ハ「ワイヒ」に住し一ハ「ヲウヲワヒユ」に住し皆世及なり其宗門他の諸島と同じ祭の法数種有り僧徒諸方に散居し其總頭を「ヲロノ」と名づく大事有る時ハ人牲を用てこれを祭る然ニ其前歯を抜て以て刑に代ふ

右の外「ニルヘサス」「ワスヒーグトニス」等の島ハ格別の奇談なし因て是を略す

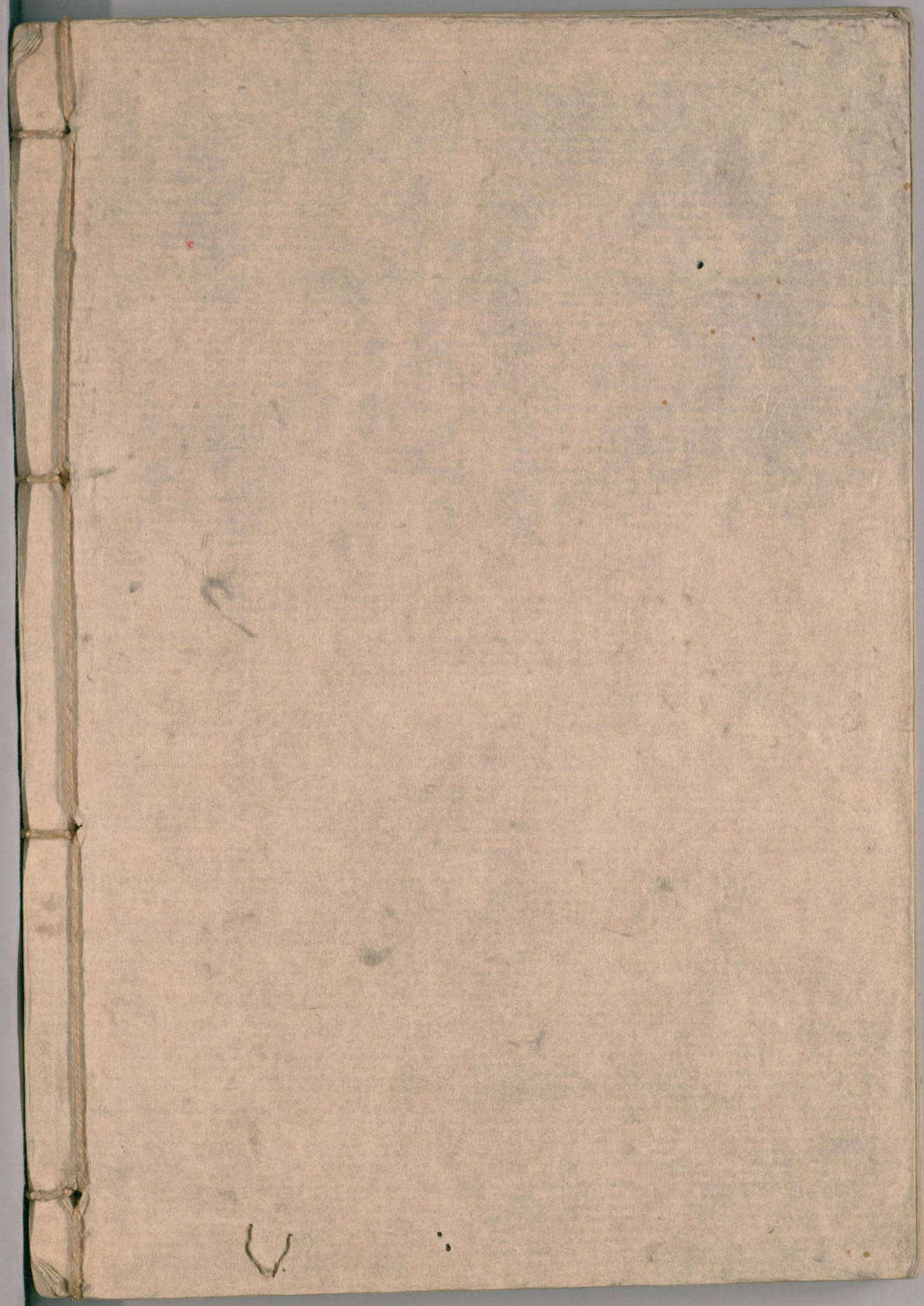
天保七丙申十二月十九日

小関好義誌

別14
2

国立国会図書館　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『新撰地誌』　請求記号 寄別14-2

ガラス使用